

令和4年度事業報告書
社会福祉法人 江南会

障害者支援施設 熊谷

目 次

熊谷施設概要 沿革	1
令和4年度社会福祉法人江南会事業報告	3
令和4年度を振り返って	4
1 各課反省及び課題	
I 生活支援課	5
II 看護健康課	6
III 総務課	6
2 福祉サービス利用に関する苦情申出窓口利用状況	7
3 資料編	
I 生活支援課	
(1) 行事実施状況	8
(2) 月別利用者状況	9
(3) 援護機関別状況	10
① 入所	
② 生活介護利用者（在宅）	
(4) 入退所状況	11
① 入所	
② 退所	
(5) 入所者年齢構成	11
(6) 入所期間状況	11
(7) 身元保証人状況	12
(8) 年金受給状況	12
(9) 疾病状況	12
(10) ADL別状況	13
(11) 補装具交付・修理状況	13
(12) 日中活動実施状況	14
(13) サークル活動状況	15
① 書道	
② 漢字教室	
③ 学び舎	
④ 脳トレ教室	
⑤ 創作活動	
(14) リハビリ訓練	16
(15) 理容実施状況	17
(16) 美容実施状況	17
(17) ショートステイ利用状況	18
(18) ショートステイアンケート集計結果	20
(19) 実習生受入状況	21
(20) 月別面会・外出・外泊状況	22
① 回数別面会状況	
② 外出種別状況	
(21) 事故発生状況	23
① 入所期間別	
② 時間別	
③ 職員の在・不在別	
④ 疾病別	
⑤ 発生場所別	
⑥ 状況別	
⑦ 原因別	
⑧ 月別発生件数	

(22) ヒヤリハット報告	
・月別ヒヤリ・ハットインシデント数	25
・ヒヤリ・ハットインシデント発生場所	25
・事例集	26
・利用者別リスク因子・改善策	30
・利用者別危険因子現況	34
・危険因子発生予測状況・改善策	35

II 看護健康課

《看護係》

(1) 診療状況	37
(2) 日常業務	37
(3) 園内診療状況	38
(4) 園内外処方状況	38
(5) 園外通院・入院状況	38
(6) 診断書類提出状況	38

《給食係》

(1) 食事形態状況	39
(2) 使用具状況	39
(3) 年間食事数	40
(4) 栄養給与状況	40
(5) 行事食実施状況	41
(6) 選択食実施状況	42
(7) 誕生日食	42
(8) 嗜好調査結果(6月)	43
(12月)	46

III 総務課

(1) 職員配置状況	49
(2) 職員資格保有状況	49
(3) 業務委託費	50
(4) 保守料状況	50
(5) 賃借状況	50
① 事務費	
② 事業費	
(6) 水道光熱費	51
(7) 太陽光ソーラーシステム売電	53
(8) 燃料費	53
(9) 通信運搬費	54
(10) 旅費交通費	55
(11) 研修研究費	55
(12) 被服費	56
(13) 修繕費	57
(14) 固定資産	57
(15) 職員研修状況	
① 園内研修	58
② 園外研修	58
(16) 防災訓練実施状況	60

熊谷施設概要

- (1) 経営主体
- 社会福祉法人江南会
理事長 坂本 周平
園 長 坂本 周平
- (2) 敷地及び建物
- 敷地面積 8806.43 m²
建物面積 (入所棟他) 1,839.73 m²
鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建
1人部屋 12室 (12 m²) 2人部屋 20室 (21 m²)
建物面積 (リハビリ棟) 137.87 m²
軽量鉄筋・鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 2階建
建物面積 (生活介護棟) 320.06 m²
木・鉄筋造合金メッキ鋼板ぶき平屋建
建物面積 (多目的棟) 225.24 m²
鉄筋造陸屋根 2階建
- (3) 事業種別及び障害者支援施設
- | | | |
|------|------------------|-----|
| 利用定員 | 施設入所支援 | 50名 |
| | 生活介護支援 | 60名 |
| | ショートステイ (短期入所事業) | 2名 |
| | 日中一時支援事業 | |
- (4) 協力施設
- 社会福祉法人 埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院
公益財団法人 西熊谷病院

沿 革

- 平成6年10月28日 社会福祉法人江南会法人認可
- 7年10月13日 身体障害者療護施設江南療護園開所
- 8年4月1日 身体障害者短期入所事業開始
- 11年4月1日 在宅障害者生活支援事業開始（法人単独）
- 12年1月1日 園歌「明日があるから・・・」制定
- 13年1月1日 江南会インターネット・ホームページ開設
- 13年12月1日 通所療護施設B型事業開始
- 15年3月31日 指定身体障害者療護施設 埼玉県第11000100029419号指定
- 15年3月31日 指定居宅支援施設 埼玉県第11000100029138号指定
- 17年3月31日 山林1,300㎡購入
- 18年9月11日 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価受審
- 18年10月1日 障害福祉サービス事業所 埼玉県第1114500018号指定
- 18年10月1日 日中一時支援事業開始
- 18年12月11日 道路46㎡購入
- 20年3月1日 江南会インターネット・ホームページ新規開設
- 20年3月3日 通所介護棟完成
- 20年3月9日 通所介護棟竣工式
- 20年3月31日 指定障害者支援施設 埼玉県第1114500018号指定
- 20年4月1日 身体障害者療護施設江南療護園から障害者支援施設熊谷に施設名変更
- 21年 2月 5日 土地583.65㎡購入
- 21年 7月14日 NPO法人福祉経営ネットワーク 福祉サービス第三者評価受審
- 24年 7月30日 土地351㎡購入
- 24年 8月31日 通所介護棟太陽光ソーラーシステム9Kw整備
- 24年11月13日 再生可能エネルギー発電設備の認定事業所
- 25年 2月18日 入所棟太陽光ソーラーシステム46.2Kw整備
- 25年 5月 1日 登録喀痰吸引等事業者・登録特定行為事業者登録
- 27年 9月13日 障害者支援施設熊谷20周年式典
- 28年 1月27日 熊谷多目的棟完成
- 28年 3月 8日 土地135.25㎡購入
- 29年 1月 1日 彩の国あんしんセーフティネット事業開始
- 29年 6月 1日 相談支援センターこころ開所
- 令和 2年 3月31日 相談支援センターこころ閉所
- 2年10月 9日 福祉避難所設置（熊谷市と協定締結）
- 3年 3月16日 非常用自家発電設備設置

令和4年度 社会福祉法人江南会事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への新たな施設対応が問われた年度といえます。思い出すに一昨年(2021年)8月に1名の職員の新型コロナウイルス陽性の確認をし、施設内に緊張感が走ったことを思い出します。そこから現在に至るまで様々な対応を施設で行ってきました。定期的なPCR検査と共に健康管理も職員を中心に継続的に行うことができたのも関係者の協力があってのことでした。入所者・ご家族に対しても面会の制限・外出自粛等のご協力いただきましたが大変な心労をおかけしたことだと思えます。施設の根幹である利用者の生活を守ることを昨年度の経験と教訓を生かしながら今後も利用者、職員の大変な命を守るため感染防止啓発に努めてまいりたいと思えます。

経営の面につきましては入所利用者の欠員が発生してしまいまして補充もできず、一年を通じて満床に至らなかったことは痛恨の極みでした。しかしながら通所(生活介護)の利用者が増えたことは地域のニーズに応えられたと思えます。諸物価の高騰の波も懸案になってきており特に水光熱費は更なる対応を求められております。

昨年度厚労省からは、①「感染症や災害への対応力の強化」 ②「地域包括的ケアシステムの推進」 ③「自立支援と重度化防止の取り組み推進」 ④「介護(保育)人材の確保と介護(保育)現場の革新」 ⑤「制度の安定性と持続可能性の確保」等が表明されており、この5項目を中長期的視点にたち事業も進めてまいりました。また、経営の持続性と地域共生社会を実現する重要な視点として持続可能な開発目標SDGs(持続可能な開発目標)の視点から「災害時持続化計画」「感染症持続化計画」の作成も必須となり完成に至りました。

社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化しており、その変化を捉え、複雑化する福祉ニーズに対応する為、社会福祉法人は、中長期的視点を持ち実践を含め、経営の持続性が基盤となり、地域共生社会の実現がこれからの社会保障・社会福祉の基本理念として掲げられているなか社会福祉法人がその中核を担うことが重要であるといえます。また、尚、就業人口の減少に伴い、人材不足が全産業において叫ばれる昨今、国は、女性・高齢者・外国人の雇用の促進を促しております。その具体的施策の技能実習制度に今後積極的に取り組み、人材不足に対応するよう進めていく必要性があります。今後の課題とさせていただきます。

令和4年度を振り返って

園長

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応と常時の感染予防環境整備が問われた年度といえます。一昨年度、施設での感染者発生から現在に至るまで紆余曲折様々な対応を施設で行ってきました。施設ではウイルスを持ち込まないことを基本として定期的なPCR検査と共に職員の家族の健康管理も継続的に行うことができ、4年度はクラスターにならず現在に至っておりますのも関係者の協力があってのことでした。

入所者・ご家族に対しても面会制限・外出自粛等のご協力いただきまして、窮屈な生活をおかけしたことだと思えます。昨年度の経験と教訓を生かしながら今後も利用者、職員の大切な命を守るため感染防止・健康管理に努めてまいりたいと思えます。

その中で通所（生活介護）の利用者が増えたことは地域のニーズに応えられたと思えます。

今後とも、地域に信頼される施設であり続けるため、地域の利用者を多く受け入れて行きたいと思えます。

4年度は様々な諸物価の高騰の影響もあり、職員には省エネ委員会を中心に啓発を行ってきました。今年度は特に水光熱費は更なる対応を求められております。施設全体でのコスト意識をもって参りたいと思えます。

地域共生社会を実現する重要な視点として災害時持続可能な開発目標SDGs（持続可能な開発目標）「災害時持続化計画」「感染症持続化計画」の作成も必須となり、各委員会が中心となり完成いたしました。

職員の確保も昨年度は安定していましたが、今後は就業人口の減少に伴い、人材不足が全産業において叫ばれる昨今、国は、女性・高齢者・外国人の雇用の促進を促しております。

そのために常にリスク管理を行い、魅力ある施設作りを目指し利用者のご家族に安心して生活を送っていただけるように、共に思考し行動して参りたいと思えます。

1 各課反省及び課題

I 生活支援課

生活支援課 課長

コロナ禍において、対応も整備され発熱時の対応等も迅速に実施できるようになってきた。が利用者の方々の楽しみである外出泊、面会の制限もあり利用者様、ご家族様へは大変大きな協力を頂きコロナ禍を乗り切ることが出来た。感染、防災対策（BCP）の整備も行え今後に生かしていきたい。小規模ではあるが、季節の行事イベントも実施することが出来、利用者様より一緒に参加していく感じがとても良かったとの感想も頂けた。利用者、家族、職員と一緒に施設また、行事を作っていく事の大切さを改めて感じる事が出来た。ここ数年の大きな経験をしっかりと生かし利用者の方々にとって暮らしやすい施設づくり、家族にとって安心できる施設、職員にとって働きやすい施設へ向かっていけるように努力を続けていきたい。

生活支援課 係長

今年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響によりさまざまな面において制限・ご協力いただきました。その中で利用者様におかれましては、個別支援計画通りに対応出来なかった面が多々ありストレスを感じさせてしまったことと思われまます。今後は制限のある中でも、限られた資源を有効活用するとともに、利用者様の笑顔溢れる1年としていきたい。また支援の質を高めるために、適切な支援方法に関する理解を深め、様々な障害の支援に求められる専門性について明らかにするとともに、実践研修を含めた研修機会を増やし全体のスキルアップを図ってきたい。

主任生活支援員

障害の重度化、多様化、ニーズへの対応、個別支援困難、障害への理解困難など日中活動を行って来て課題や問題が多くみつかった。様々な障害に知的障害、身体障害、重症心身障害、高次脳機能障害、自閉症、中途障害や身体と知的の重複の利用者が増え現状の人員体制であると対応しきれなく利用者のニーズを満たせない状況で日中活動を行う場合もありました。今後は限られた資源を使いながらどのように活動していくか人的資源には限界がある為、物的資源を有効活用して行けるようなシステムを構築する1年にしていきたい。

主任生活支援員

今年度においては、その時々状況に合わせて変化や対応を繰り返し行う事で、昨年度と比較すると、僅かではあるが利用者様の生活状況も回復傾向にあったと感じる。しかしながら利用者様の感染症に対する不安な気持ちや、生活の質向上という面ではいまだ完全に回復したと言える状況ではない。今年度は感染症対応(BCP)マニュアルを基に、これまでと同様、感染症防止対策に対して力を注いでいきたい。まずは利用者様の生活の質向上が最優先事項であることを念頭に置き、利用者様の笑顔が今よりも多くなり、職員も活気溢れる施設であるように自らが先頭に立って尽力していきたい。

新型コロナウイルスへの対応も徐々に緩和され、利用者様の笑顔が多く見られたと感じる。行事やイベントを通し職員と一緒に楽しんでいる姿が印象的であった。今後も、他部署と連携し利用者様の健康管理に努めていく。職員一人一人が柔軟に対応できる様リーダーシップを発揮し活気ある職場にしていきたい。

II 看護健康課

看護師

令和4年夏頃ご利用者様数名、職員数名コロナの感染見られたが、病院との連携(報告・入院対応)スムーズに行う事ができた。その為、重篤化、最悪のケースもなく、ご利用者様退院後もクラスタの発生もなく、落ち着く事ができた、感染対策の徹底、継続、一動作一手洗い、自己管理・ご利用者様健康管理、等々気を引きしめて行っていくため以下の事を啓発していく。

*感染者を出さない・持ち込まない、一人一人が自覚をもって仕事に取り組む。

管理栄養士

本年は多様化している食種形態に対応すべく約束食事箋規約を作成し、糖尿病や塩分制限食など特食対応が必要な利用者様の受け入れ可能な体制を整えることができた。給食管理業務においては、行事食の充実を図るため委託給食業者の契約見直しを行い、業者間の連絡調整に努め、切り替え業務を円滑に進めることができた。また施設で使用している給食管理ソフトが日本食品標準成分表「八訂」に未対応であるため、ソフト管理業者と協議して迅速に八訂への移行対応を進めていきたい。今後も他職種協働で利用者様一人ひとりの生活状況・身体状況に応じた食事提供と栄養管理を行うことで、健康と食のサポートと満足度の向上につなげていきたい。

III 総務課

総務課長

昨年度は事業活動資金収支が赤字となり厳しい経営状況となったが、今年度は概ね予想通り事が運び、事業活動資金収支は黒字で終わることができた。コロナや物価高騰とまだまだ不安定な情勢が続くが、そんな中処遇改善やコロナ対策、光熱費高騰対策の補助金をいただけたことは施設としてとても助けられた。しかし、施設設備に係わる備品の購入やリース債務で全体的には赤字となってしまっているのでまだ課題が残る。事業活動だけでなく、施設整備、その他の活動にも目を向け、全体を考える必要がある。介護報酬等の収入のMAXは決まっているため、いかに経費を削減するかが鍵となり、十分に検討を重ねていきたい。

主任事務員

一部の定型業務の手順化や自動化を進めることが出来たが、まだチェック方法など目視に頼るところも多く課題を感じている。総務としては、電気代をはじめとして、色々な物の値段が上昇している。引き続き、省エネやコスト削減に努めていかなければならないと感じた。

2 福祉サービス利用に関する苦情申出窓口利用状況

(1) 件数

受け入れ件数	0
--------	---

(2) 苦情内容

	ケース1	ケース2
苦情の分類		
苦情内容		
申出人の要望		
第三者委員への報告の要否		
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会いの要否		
苦情解決結果		

3 資料編

I 生活支援課

《生活支援係》

(1) 行事实施状況

実施日	内 容
4月1日	辞令交付式・全体集会
24日	保護者会総会
5月11日	害虫駆除
18日	自治会総会
	身障協ゲーム交流会(中止)
	個別支援計画策定会議(書面にて)
6月1日	全体集会
8日	運動会(雨天のため中止)
	保護者会清掃(中止)
	身障協スポーツ交流会(中止)
7月7日	利用者・職員健康診断開始
8月	全体集会(中止)
9月7日	モニタリング開始
28日	居室ワックス清掃
29日	共用部ワックス清掃・ガラス清掃
10月	全体集会(中止)
26日	開園記念式典
	熊谷まつり
	身障協外出交流レク(中止)
11月16日	害虫駆除
	身障協文化作品展(中止)
	地域合同総合防災訓練(中止)
12月7日	全体集会
	保護者会清掃(中止)
14日	居室ワックス清掃
15日	共有部ワックス清掃
21日	クリスマス会
1月4日	新年会
2月1日	全体集会
2日	利用者・職員健康診断開始
3月	共有部ワックス清掃

(2)月別利用者状況

月	各月1日付利用者数			その月の入所者数	その月の退所者数
4	47	男	29	0	0
		女	18		
5	48	男	30	1	0
		女	18		
6	48	男	30	0	0
		女	18		
7	48	男	30	0	0
		女	18		
8	48	男	30	0	0
		女	18		
9	48	男	30	1	0
		女	18		
10	49	男	30	0	0
		女	19		
11	49	男	30	0	0
		女	19		
12	49	男	30	0	0
		女	19		
1	49	男	30	0	1
		女	19		
2	48	男	30	0	0
		女	18		
3	48	男	30	1	0
		女	18		
合計	579	男	359	3	1
		女	220		

(3) 援護機関別状況

① 入所

県名	福祉事務所別利用状況				
	市町村名	令和5年 3月31日付状況		4年度 入所	4年度 退所
埼玉県	熊谷市	9	男 5	1	
			女 4		
	川口市	2	男 2		
			女 0		
	さいたま市(浦和)	3	男 2		
			女 1		
	さいたま市(大宮)	1	男 0		
			女 1		
	さいたま市(桜)	0	男 0		
			女 0		
	さいたま市(中央)	2	男 2		
			女 0		
	さいたま市(南)	1	男 0		
			女 1		
	さいたま市(見沼)	1	男 0		
			女 1		
	東松山市	2	男 1	1	
			女 1		
	春日部市	1	男 1		
			女 0		
深谷市	1	男 1			
		女 0			
上尾市	4	男 3			
		女 1			
行田市	2	男 2			
		女 0			
所沢市	0	男 0			
		女 0			
朝霞市	1	男 0			
		女 1			
坂戸市	0	男 0			
		女 0			
蕨市	1	男 0			
		女 1			

県名	福祉事務所別利用状況				
	市町村名	令和5年 3月31日付状況		4年度 入所	4年度 退所
埼玉県	鶴ヶ島市	0	男 0		
			女 0		
	桶川市	1	男 1		
			女 0		
	吉川市	1	男 1		
			女 0		
	幸手市	0	男 0		
			女 0		
	吉見町	3	男 0		
			女 3		
	伊奈町	2	男 2		
			女 0		
	北本市	2	男 2		
			女 0		
	鳩山町	0	男 0		
			女 0		
	嵐山町	2	男 0	1	1
			女 2		
	ときがわ町	1	男 1		
			女 0		
富士見市	1	男 0			
		女 1			
寄居町	0	男 0			
		女 0			
久喜市	1	男 1			
		女 0			
美里町	1	男 1			
		女 0			
宮代町	0	男 0			
		女 0			
小川町	0	男 0			
		女 0			
滑川町	1	男 1			
		女 0			
東京	板橋区	2	男 2		
			女 0		

② 生活介護利用者(在宅)

県名	福祉事務所別利用状況				
	福祉事務所名	令和5年 3月31日付状況		4年度 入所	4年度 退所
埼玉県	熊谷市	2	男 2	1	0
			女 0		
埼玉県	東松山市	0	男 0	0	1
			女 0		
埼玉県	深谷市	1	男 0	0	0
			女 1		

県名	福祉事務所別利用状況				
	福祉事務所名	令和5年 3月31日付状況		4年度 入所	4年度 退所
埼玉県	嵐山町	2	男 1	1	0
			女 1		
埼玉県	ときがわ町	0	男 0	0	1
			女 0		
埼玉県	滑川町	0	男 0	0	0
			女 0		

(4)入退所状況

①入所

入所前の所在	内訳		
	性別	令和5年 3/31現在	小計 3/31現在
施設	男	3	1
	女		
病院	男		0
	女		
在宅	男	2	2
	女		

②退所

退所理由	内訳		
	性別	令和5年 3/31現在	小計 3/31現在
病死	男	1	
	女		
他施設	男		
	女		
在宅	男		
	女		
入院	男	1	1
	女		

(5)入所者年齢構成

区分 性別	18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
	25未満	30未満	35未満	40未満	45未満	50未満	55未満	60未満	65未満	以上				
男性	0	3	1	3	1	2	6	5	4	6	31	25.6	82.11	52.11
女性	0	0	0	1	1	4	4	2	2	4	18	39.2	76.1	55.3
小計	0	3	1	4	2	6	10	7	6	10	49	32.4	79.105	53.7
比率	0.00	0.06	0.02	0.09	0.04	0.13	0.21	0.15	0.13	0.21				

(6)入所期間状況

区分 性別	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計	最長者	最短期	平均入所期間
	1年未満	1~2年未満	2~3年未満	3~4年未満	4~5年未満	5~6年未満	6~7年未満	7~8年未満	8~9年未満	9~10年未満	10年以上				
男性	2	2	4	1	2	1	4	3	2	2	8	31	27年5ヶ月	1ヶ月	9.1
女性	1	0	1	1	3	1	0	1	0	0	10	18	27年5ヶ月	6ヶ月	11.1
合計	3	2	5	2	5	2	4	4	2	2	18	49			10.1

(7)身元保証人状況

区分 性別	区分													合計
	父	母	配偶者	兄	弟	姉	妹	子供	甥 姪	従兄弟	その他の親族	後見人	なし	
男性	9	7	1	4	0	4	4	0	0	1	0	1	0	31
女性	8	3	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	18
合計	17	10	2	5	0	4	5	0	0	1	2	1	2	49

(8)年金受給状況

年金種類	男	女	計
障害基礎年金	14	12	26
障害厚生年金	4	3	7
障害基礎年金+障害厚生年金	4	1	5
各種共済年金	1	1	2
生保	8	1	9
未受給	0	0	0
合計	31	18	49

(9)疾病状況

障害別	性別		
	男	女	計
脳血管障害	5	3	8
筋ジストロフィー	0	0	0
脊髄損傷・頸椎損傷	1	0	1
脳性麻痺後遺症	10	6	16
事故	5	0	5
その他・膠原病・破傷風・脊髄小脳変性症	10	9	18
合計	31	18	49

(10)ADL別状況

区分		自立	一部介助	全介助	計	備考
食事	男	15	3	10	28	経管栄養3名
	女	7	7	4	18	
	小計	22	10	14	46	
	比率	44%	20%	28%	92%	
排泄	男	6	6	19	31	おむつ使用者25名 夜間のみ使用者11名 カテーテル使用者3名
	女	2	6	10	18	
	小計	8	12	29	49	
	比率	16%	24%	58%	98%	
移動	男	14	4	13	31	歩行 2名
	女	9	3	6	18	
	小計	23	7	19	49	
	比率	46%	14%	38%	98%	
着脱	男	4	6	21	31	
	女	1	4	13	18	
	小計	5	10	34	49	
	比率	10%	20%	68%	98%	

(11)補装具交付・修理状況

交付	内容	件数	備考
新規	車椅子	3	
修理 (申請)	タイヤ交換	3	
	チューブ交換	3	
	キャスター交換	1	
	ブレーキ交換	4	
	ヘッドレスト交換	1	
	クッション交換	3	

(12)日中活動実施状況

	集団プログラム	個別プログラム	月計
月	参加延人数	参加延人数	参加延人数
4月	355	591	946
5月	339	548	887
6月	401	642	1043
7月	83	203	286
8月	24	81	105
9月	198	390	588
10月	259	427	686
11月	396	607	1003
12月	388	596	984
1月	364	569	933
2月	341	529	870
3月	432	669	1101
合計	3580	5852	9432

年間参加延総数	稼働日	一日平均参加者
9432	193	48.8

(13) サークル活動状況

①書道		②漢字教室		③学び舎	
月	参加人数	月	参加人数	月	参加人数
4月	コロナで中止	4月	6	4月	コロナで中止
5月	コロナで中止	5月	6	5月	コロナで中止
6月	コロナで中止	6月	6	6月	9
7月	コロナで中止	7月	コロナで中止	7月	コロナで中止
8月	コロナで中止	8月	3	8月	コロナで中止
9月	コロナで中止	9月	6	9月	コロナで中止
10月	コロナで中止	10月	10	10月	10
11月	コロナで中止	11月	10	11月	7
12月	6	12月	11	12月	コロナで中止
1月	6	1月	12	1月	13
2月	先生との予定合わず	2月	12	2月	13
3月	6	3月	12	3月	コロナで中止

④脳トレ教室		⑤創作活動(蜂須先生)			
月	参加人数	月	参加人数		
4月	24	4月	8		
5月	18	5月	8		
6月	26	6月	8		
7月	コロナで中止	7月	コロナで中止		
8月	12	8月	コロナで中止		
9月	12	9月	コロナで中止		
10月	18	10月	コロナで中止		
11月	24	11月	コロナで中止		
12月	18	12月	コロナで中止		
1月	24	1月	コロナで中止		
2月	24	2月	コロナで中止		
3月	30	3月	コロナで中止		

(14)リハビリ訓練

理学療法

実施日		実施人数	指示訓練実施人数	内 容
月	日			
4月	5日	6	137	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	12日	7		
	19日	6		
	26日	6		
5月	10日	6	112	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	17日	5		
	24日	5		
	31日	6		
6月	7日	6	120	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	14日	6		
	21日	6		
	28日	6		
7月	5日	6	19	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	他、PTIによるリハビリは中止。			
8月	9日	6	78	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	16日	6		
	23日	6		
9月	6日	6	79	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	13日	6		
	20日	6		
10月	18日	6	54	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	25日	6		
11月	1日	6	101	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	8日	6		
	15日	7		
	22日	6		
	29日	6		
12月	6日	6	53	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	13日	6		
	20日	6		
	27日	6		
1月	10日	6	94	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	17日	6		
	24日	6		
	31日	6		
2月	7日	6	61	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	14日	6		
	21日	6		
	28日	6		
3月	7日	6	96	ROMex、リラクゼーション、歩行訓練、座位ex、立ち上がりex、立位保持ex
	14日	6		
	28日	6		
合計		246	1004	

(15)理容実施状況

実施日	カット	毛染め	外部利用
4月 11日	15	0	0
4月 18日	11	0	0
5月 16日	17	0	0
6月 20日	19	0	0
8月 15日	16	0	0
8月 22日	13	0	0
9月 19日	14	0	0
10月 31日	22	0	0
11月 28日	16	0	0
12月 15日	15	0	0
12月 26日	18	0	0
1月 23日	18	0	0
2月 20日	17	0	0
3月 20日	19	0	0

(16)美容実施状況

実施日	カット	毛染め	外部利用
4月 4日	5	2	0
5月 2日	13	1	0
6月 6日	6	2	0
7月 4日	12	1	0
8月 1日	7	3	0
9月 5日	11	0	0
10月 3日	7	4	0
11月 7日	13	0	0
12月 5日	7	4	0
1月 9日	11	0	0
2月 6日	8	4	0
3月 6日	10	0	0

(17)ショートステイ利用状況

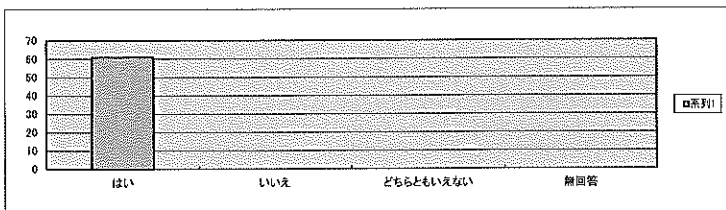
市町村	期間	日数	性別	理由
嵐山	4月7日～4月8日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	4月8日～4月11日	4	男	施設入所訓練
熊谷	4月15日～4月16日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	4月15日～4月18日	4	男	施設入所訓練
熊谷	4月22日～4月23日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	4月22日～4月25日	4	男	両親の介護負担の軽減
東松山	4月30日～5月2日	3	男	両親の介護負担の軽減
熊谷	5月3日～5月5日	3	男	介護者負担の軽減
熊谷	5月6日～5月7日	2	女	両親の介護負担の軽減
熊谷	5月9日～5月13日	5	男	両親の介護負担の軽減
嵐山	5月12日～5月13日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	5月25日～5月27日	3	男	介護者都合
熊谷	5月27日～5月28日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	5月30日～6月1日	3	男	介護者都合
嵐山	6月2日～6月3日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	6月6日～6月8日	3	男	介護者都合
熊谷	6月11日～6月13日	3	男	介護者負担の軽減
東松山	6月15日～6月17日	3	男	介護者都合
熊谷	6月17日～6月18日	2	女	両親の介護負担の軽減
熊谷	6月20日～6月24日	5	男	両親の介護負担の軽減
東松山	6月23日～6月27日	5	男	介護者都合
東松山	7月6日～7月8日	3	男	介護者都合
嵐山	7月7日～7月8日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	8月3日～8月5日	3	男	介護者都合
東松山	8月17日～8月19日	3	男	介護者都合
東松山	8月24日～8月26日	3	男	介護者都合
嵐山	9月1日～9月2日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	9月13日～9月15日	3	男	介護者都合
熊谷	9月17日～9月19日	3	男	介護者負担の軽減
東松山	9月28日～9月30日	3	女	介護者都合
嵐山	10月6日～10月7日	2	女	両親の介護負担の軽減
熊谷	10月8日～10月10日	3	男	介護者負担の軽減
東松山	10月17日～10月19日	3	男	介護者都合
熊谷	10月22日～10月23日	2	男	両親の介護負担の軽減
東松山	10月31日～11月2日	3	男	介護者都合
嵐山	11月3日～11月4日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	11月9日～11月11日	3	男	介護者都合
東松山	11月16日～11月18日	3	男	介護者都合
嵐山	12月1日～12月2日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	12月7日～12月9日	3	男	介護者都合
東松山	12月14日～12月16日	3	男	介護者都合

市町村	期間	日数	性別	理由
東松山	12月21日～12月23日	3	男	介護者都合
熊谷	12月27日～12月28日	2	男	両親の介護負担の軽減
東松山	1月11日～1月13日	3	男	介護者都合
東松山	1月18日～1月20日	3	男	介護者都合
東松山	1月25日～1月27日	3	男	介護者都合
東松山	2月1日～2月3日	3	男	介護者都合
嵐山	2月2日～2月3日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	2月20日～2月22日	3	男	介護者都合
東松山	2月8日～2月10日	3	男	介護者都合
東松山	2月20日～2月22日	3	男	介護者都合
鴻巣	2月21日～2月23日	3	男	施設入所訓練
東松山	3月1日～3月3日	3	男	介護者都合
嵐山	3月2日～3月3日	2	女	両親の介護負担の軽減
東松山	3月8日～3月10日	3	男	介護者都合
東松山	3月15日～3月17日	3	男	介護者都合
熊谷	3月18日～3月20日	3	男	両親の介護負担の軽減
東松山	3月22日～3月24日	3	男	介護者都合
東松山	3月29日～3月31日	3	男	介護者都合
合計日数	169		利用率	23.2%

(18)ショートステイアンケート集計結果

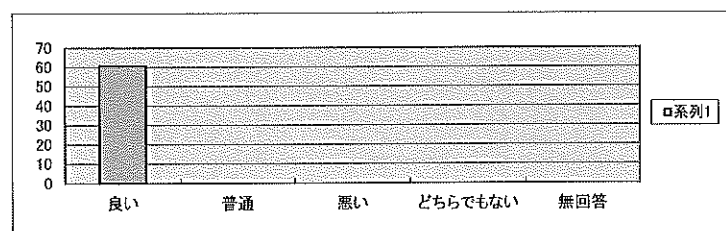
1 部屋の清掃は、きちんと行き届いていましたか。

はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
61	0	0	0



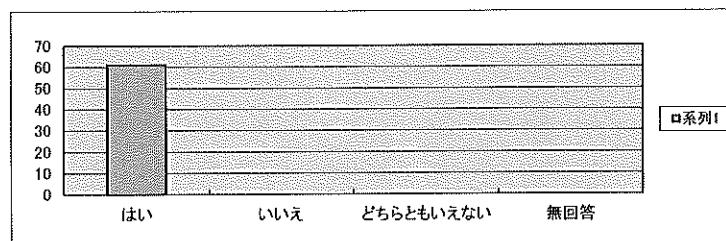
2 職員の対応はいかがでしたか。

良い	普通	悪い	どちらでもない	無回答
61	0	0	0	0



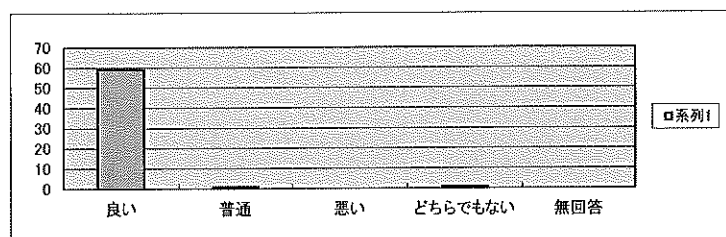
3 入浴は気持ちよく安心して入ることができましたか。

はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
61	0	0	0



4 食事の内容・味付けはいかがでしたか。

良い	普通	悪い	どちらでもない	無回答
59	1	0	1	0



5 その他、お気づきのことがありましたらご遠慮なくご記入ください。

- ・部屋の時計が置いてなかった。
- ・部屋にゴミ箱・椅子が設置していなかった
- ・トイレの電球が切れていた
- ・便座が冷たかった
- ・トイレの排せつ物が処理できていなかった
- ・ゴミ箱が片付いていなかった
- ・部屋に時計があったので助かった
- ・湯加減が丁度良かった
- ・食事が美味しかった
- ・みそ汁の具が少し硬かった
- ・他の利用者の声気が気になった
- ・うるさくて眠れなかった
- ・室温が寒かった

(19)実習生受入状況

学校名及び団体名	期 間	日数	人数	内 容
介護体験		0	0	コロナの為、受け入れ中止
合 計				

(20) 月別面会・外出・外泊状況

区分 月	面会			外出			外泊		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
4	3	0	3	10	6	16	0	0	0
5	1	0	1	5	5	10	3	0	3
6	2	1	3	8	5	13	5	0	5
7	0	0	0	4	5	9	1	0	1
8	0	0	0	6	4	10	1	0	1
9	0	0	0	10	2	12	0	1	1
10	0	0	0	4	2	6	0	0	0
11	0	0	0	10	4	14	1	0	1
12	1	1	2	4	7	11	0	0	0
1	2	0	2	4	1	5	0	0	0
2	0	0	0	3	1	4	0	0	0
3	1	0	1	5	2	7	0	0	0
合計	10	2	12	73	44	117	11	1	12

①回数別面会状況

区分	男	女	計
0	25	16	41
1~10	6	2	8
11~20	0	0	0
21~30	0	0	0
31~40	0	0	0
41~50	0	0	0
51~	0	0	0
合計	31	18	49

②外出種別状況

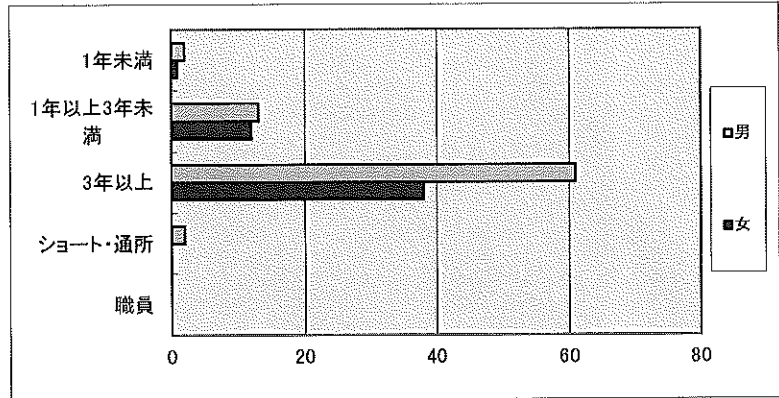
種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
男	付添	10	4	8	4	4	10	4	9	4	4	2	4	67
	単独	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	6
女	付添	5	5	4	5	4	1	2	4	5	1	1	2	39
	単独	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	5
合計	16	10	13	9	10	12	6	14	11	5	4	7	117	

(21)事故発生状況

①入所期間別

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上	ショート・通所	職員	計
男	2	13	61	2	0	78
女	1	12	38	0	0	51
合計	3	25	99	2	0	129

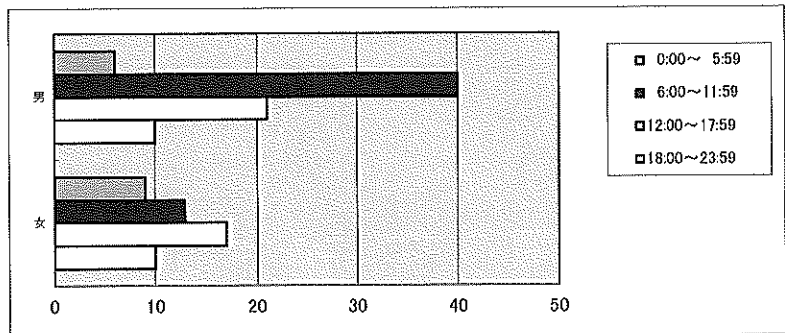
*該当者不明1



②時間別

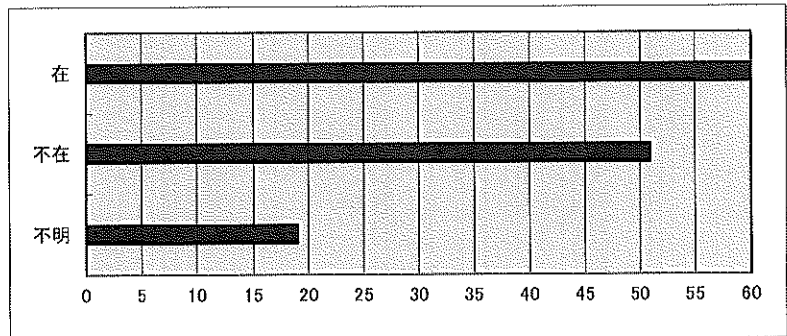
時間	男	女	計
0:00～ 5:59	6	9	15
6:00～11:59	40	13	53
12:00～17:59	21	17	38
18:00～23:59	10	10	20
不定	1	2	3
合計	78	51	129

*該当者不明1



③職員の在・不在別

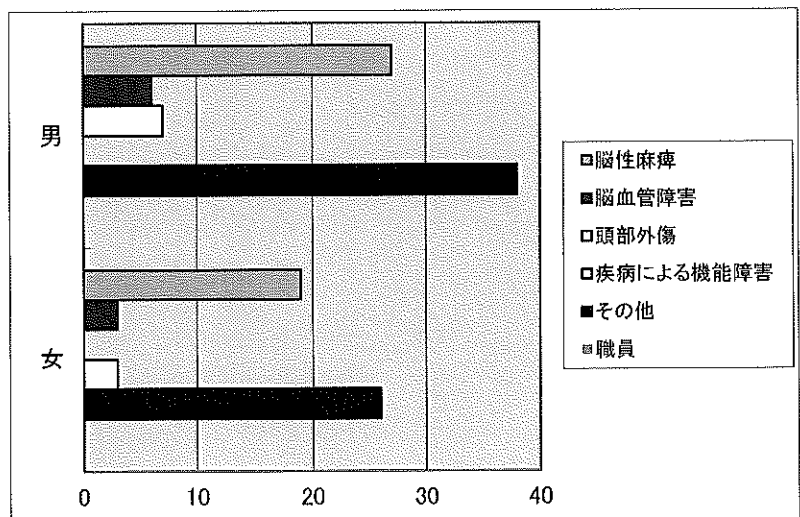
区分	件数
在	60
不在	51
不明	19
合計	130



④疾病別

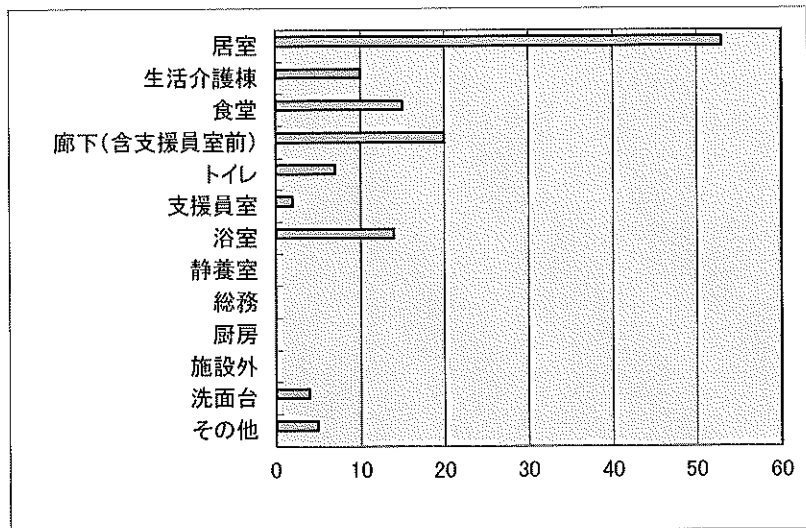
疾病名	男	女	計
脳性麻痺	27	19	46
脳血管障害	6	3	9
頭部外傷	7	0	7
疾病による機能障害	0	3	3
その他	38	26	64
職員	0	0	0
合計	78	51	129

*該当者不明1



⑤発生場所別

場所	件数
居室	53
生活介護棟	10
食堂	15
廊下(含支援員室前)	20
トイレ	7
支援員室	2
浴室	14
静養室	0
総務	0
厨房	0
施設外	0
洗面台	4
その他	5
合計	130



⑥状況別

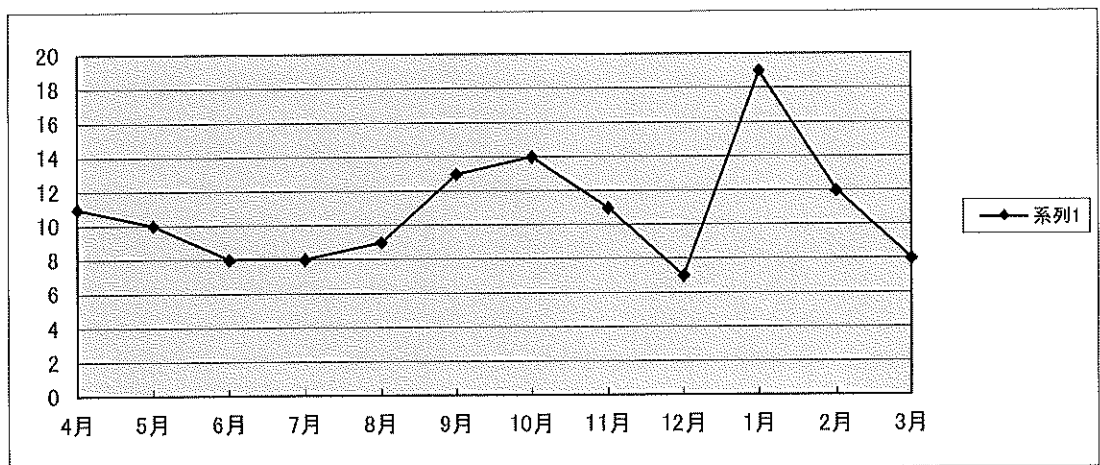
区分	件数
車椅子から転落	20
歩行移動時の転落	9
車椅子自走時の負傷	1
嘔吐、咽込み	0
打撲	2
Baカテトラブル	1
GETトラブル	0
異物混入	0
トランス時トラブル	2
誤薬	8
職員への危害	2
爪切りによる怪我	9
他利用者への危害	18
与薬忘れ	2
園外でのトラブル	0
ベッド上トラブル	7
トイレでの怪我	1
自傷	0
皮膚トラブル	9
その他	39
合計	130

⑦原因別

区分	件数
利用者が単独で行動	50
職員の不注意	60
保護者の不注意	0
不明	20
合計	130

⑧月別発生件数

4月	11
5月	10
6月	8
7月	8
8月	9
9月	13
10月	14
11月	11
12月	7
1月	19
2月	12
3月	8
合計	130

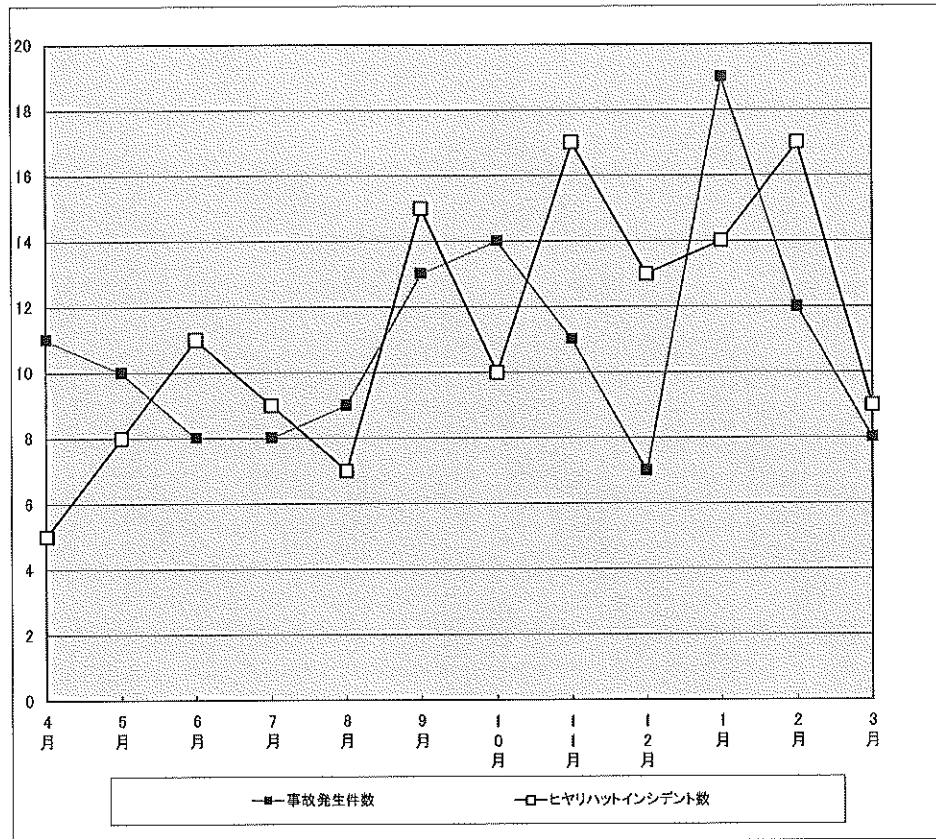


昨年に引き続き、同一利用者の歩行中の転倒事故と他利用者への危害が多い。
 発生時間や状況を確認して支援を継続していく。
 また、職員の不注意による服薬ミスも例年から変わらず発生している。焦らずに規則通りに実施するよう職員に周知する。

(22)ヒヤリ・ハット報告

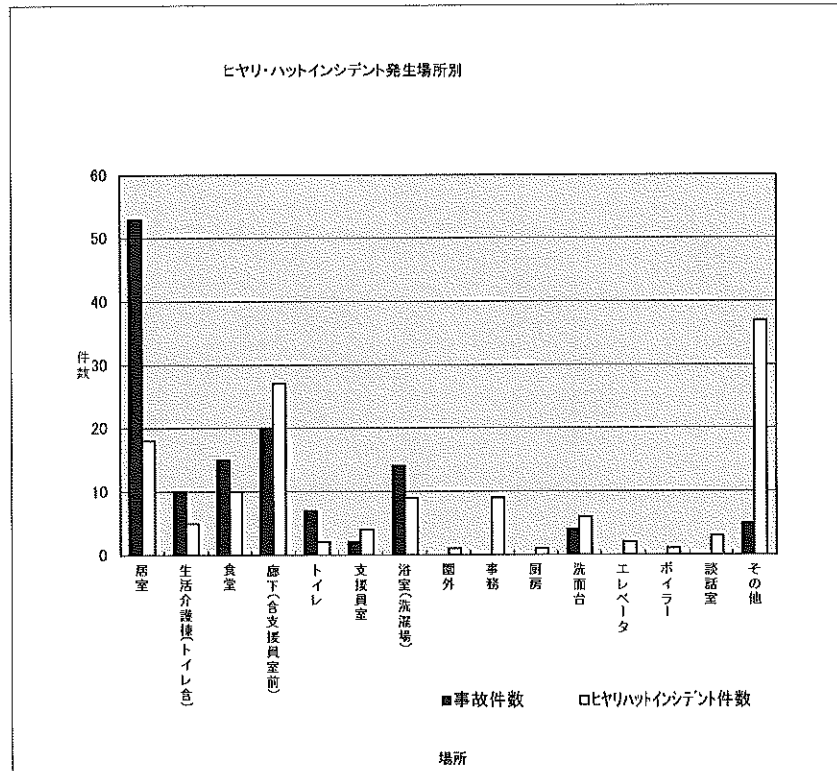
月別ヒヤリ・ハットインシデント数

月	事故発生件数	ヒヤリハットインシデント数
4月	11	5
5月	10	8
6月	8	11
7月	8	9
8月	9	7
9月	13	15
10月	14	10
11月	11	17
12月	7	13
1月	19	14
2月	12	17
3月	8	9
合計	130	135



ヒヤリ・ハットインシデント発生場所

場所	事故件数	ヒヤリハットインシデント件数
居室	53	18
生活介護棟(トイレ含)	10	5
食堂	15	10
廊下(含支援員室前)	20	27
トイレ	7	2
支援員室	2	4
浴室(洗濯場)	14	9
園外	0	1
事務	0	9
厨房	0	1
洗面台	4	6
エレベータ	0	2
ボイラー	0	1
談話室	0	3
その他	5	37
合計	130	135



事例集

居室	夜間帯にバイタル測定を行うはずの利用者様のバイタルが実施されていなかった。役職者に報告し対応するはずだった職員には役職者から指導を行った。隔離対応している利用者様のため何かあったらと思うとヒヤリとした。
	F様: 10:00に血圧測定を行うことになっていたが、時間がずれて血圧測定を行うことになってしまいハツとする。今後は時間をずらさずに定刻に行えるように業務分担を工夫して行います。
	7:46 A1様がA2様の居室に入っている所を支援員が発見する。A1様の居室には1名職員がついていた為、夜勤明けの職員が検温中であった。A2様に怪我があったらと思うとヒヤリとした。
	T様: 13:20頃、本人が窓の外側に居る所を発見する。転倒していたらと思うとヒヤリとした
	K様: 15:15頃、ベットから車いすへトランスをしようとしたときに、左手がベット柵に引っ掛かり、ご本人が痛いと訴えた。その後は痛みを訴えず、ケガはなかったが、ヒヤリとした。
	16:00 廊下より213号室を見ると前向きに傾き戻れなくなっているK様を発見する。すぐに体を起こしたが胸ベルトがされておらず、そのまま前傾に転倒していたらと思うとハツとした。
	朝のトランス時、M様の首に昨日のバンダナがしたままになっていた事。また、下着(パンツ)を交換して欲しいとお願いしたが交換してもらえなかったとご本人から訴えがありました。利用者様の支援ができていない事にヒヤリとした。
	昼食後、ベッド上でS様より布団が一枚もないとコールあり。汚れ等で布団を片づけた職員が綺麗な布団を出さなかったと思われる。支援が最後までできていない事にヒヤリとした。
	A様: A様がS様に掴みかかろうとしていたのを発見する。すぐに駆け寄ったがズボンを引っ張られてしまう。怪我をしていたらと思うとヒヤリとした。
	食堂
M様: 夕食後エプロンを片付けようとすると、薬がT落ちていたと支援員より報告を受ける。Ns立ち合いのもと、薬のナンバー照会によりM様ご本人の薬と判明し、服用していただく事が出来たが、服用出来なかったらと思うとヒヤリとした。職員は薬の取り扱い(与薬・配薬マニュアル)に十分注意し、対応していきましょう。	
朝の起床介助時、A様の車椅子の何れかからムカデが逃げ出す。ムカデは捕まえたが、事故が発生したばかりで、再度利用者様や職員に被害が出たらとヒヤリとした。	
S様: 朝食時、M様の氏名を記入した紙コップ(ラキソ入り)がS様のおぼんの上のせて配膳されていた。お茶を飲む前に気付いたが、名前を確認しないでおぼんにお茶をのせる職員がいること、もし気づかず誤薬していたらと思うとヒヤリとする。	
夕食与薬時、T様の漢方薬のみを開封・与薬するはずのところを、漢方薬と錠剤の入っている薬袋、両方を開封してしまい、ヒヤリとした。	
昼食時、A様の食事をH様へ配膳してしまう。支援員が気付き対応した為、誤って食す事はなかったがヒヤリとした。	
カメラ確認し配膳時に食札を読み上げずにそのまま配膳した事が原因である。改善策として必ず周囲の職員にも聞こえるよう食札の読み上げを徹底する。他対策として食札関連については給食衛生委員と協力していく。	
感染対策中のT様 就前薬服用時、食堂の使用してしまった。感染対策ができていない事にヒヤリとする	
朝食の服薬の際、台車に用意された本日付けの薬を配って回った。他支援員から様様のリスペリドンが無いことに指摘を受け確認すると配薬タワーの本日付けの枠に入っておりヒヤリとした。既に用意された薬をどなたかが台車へ移動された為上記問題が起きており決められた方法を守って対応しなければならないとハツとした。	
朝食の配膳時、T様が「これ、食べて良いの?」と声をあげた為「どうしました?」と声を掛けると近くの他利用者が「牛乳とヨーグルト両方ある。」と教えて下さる。同じテーブルの他利用者からも違っているとの声が聞かれた。2名の職員で食札を確認するとヨーグルトと明記されていた為、厨房に伝えた。そのまま食していたらと思うとヒヤリとした。	
トイレ	1階東トイレ内に薬が1錠落ちていたのを発見する。薬が溶けかかっており、何の薬か不明の為詳細はわからず。看護師に報告する。
	C様が、1階東トイレ前で「トイレ」「うんち」と叫んでいた為、昼休憩明けでトイレ介助をしたが、その際ベルト2個共接続されておらず、靴も左右反対であった。転落していたらとヒヤリとした。
浴室	一般浴開始時、リフターの充電がされていないことに気づく。入浴ができなかったらと思うとひやりとする。
	T様: 入浴時、車椅子から着脱場に移る際バランスを崩し後ろに倒れそうになる。職員が気付き支えて座って頂く。そのまま転倒していたらと思うとヒヤリとした。
	入浴時衣類と一緒にリハパンを衣類かごにいれてしまい、そのまま大型洗濯機で洗われてしまったと報告を受けヒヤリとする。洗濯担当の職員より報告を受けるまで気づかず注意が足りなかったことにハツとする
	尿汚染したリネン類を、空き袋に密閉したが、袋に日付と利用者氏名を書かなかった。感染症対策に対する意識の低さに、ヒヤリとした。
	M様のバウチを正しく装着できていなかったとの報告を受ける。昨日入浴時に自らが対応し、正しく装着できずご本人にご迷惑を掛けてしまった事にハツとする。今後は正しく装着し、ご本人に迷惑を掛けないように対応します。
	AM入浴開始時、お湯がはれていない報告を受ける。主任相談し午前午後の入浴を交換し迅速な判断をしていただいたが入浴できなかったと思うとヒヤリとした。今後他の業務に関しても一つ一つ確認を行い再発防止に努めたい。
	I様が入浴後ポロシャツ1枚しか着ていない事に気づく。お聞きするとカゴに上衣は1枚入ってなかったとの事。入浴準備をした職員の意識の低さにヒヤリとする
入浴介助時綿褲の入った箱を倒し、中身を半分落としてしまう。園の備品を無駄にしまいヒヤリとする。	
M様: 入浴前、自分の衣類にひっかかり、マットの上にお尻をつく仙骨部の痛みの訴えもあるも、外傷発赤、腫脹等特になし、その後も車椅子上自走あり様子観る。	
廊下	A様: 7:00居室入口にて声を掛けたF様さんの胸につかみかかる。けがはなかったがヒヤリとした。
	A様: 15:20生活棟誘導時、前方にいたT様さんにつかみかかろうと急に手を伸ばす、けがをしたらと思うとひやりとした。
	PM活動後、S様に渡り廊下を誘導してほしいと頼まれる。誘導中に足を支えられなく急に地面に着けた、足が地面に引っ掛かり体が前傾になった為、車イスより転落するかと思ひヒヤリとした。フットレストを着けていない車イスであるため誘導時には注意が必要

廊下	A様:13:20頃、S様がA様の居室前を通過すると同時に廊下を勢いよく這い出して来る姿を発見する。職員が止めに入れたが、もし掴みかかっていたらと思うとヒヤリとした
	A様:11:00頃、廊下へ急に這い出して来て、自室の前を通る車椅子に向かっていった。食堂方面へ進んでいた利用者がすぐに気づき車椅子をバックさせて逃げているところを職員が気づき間へ入る。幸い事故にはならずすんだがヒヤリとした。
	夜勤入り時の引継ぎを記載したメモを、廊下に落としてしまい、他の職員に発見される。個人情報扱うに当たって、危機管理の低さにヒヤリとする。
	A様:11:10頃廊下を自走していたO様のリュックに掴みかかる。もし本人に掴みかかり怪我をしていたらと思うとヒヤリとした。
	8:50 S様、食堂前廊下を歩行している。現在は感染対応中であり利用者様は居室にて過ごしていただいている中でハツとした。今日ばかりでなく感染対応中いつも歩行している、本人にしっかりと話をすれば居室へ戻り過ごす事が出来るのに職員の声掛けが足りていない。また職員に対して指示をとれていない自分の力不足を感じる
	A様が、部屋から這い出て、支援員室前付近の廊下に居たT様を追い掛けた所を発見し、途中で止めた。危害に及んでいたらとヒヤリとした。
	起床介助時、A様の居室前を通りかかったN様に居室から這い出てきたA様が掴みかかろうとする。N様が自身で身を避けられ間に職員も入ったことで掴まれることはなかったが、実際に事故が発生していたらと思うとヒヤリとする。
	A様:14:30 水分提供中のT様の足元にA様がいるのを東の非常扉から発見する。駆け付けるとA様がT様のズボンを掴んでいた。T様さんが怪我をしていたらと思うとヒヤリとした。
	朝食前、O様の横をF様が通り過ぎる際、O様が腕を振ってぶつかりそうになる。接触し、事故に繋がりそうにヒヤリとした。利用者の行き来が多い時間帯は、注意が必要。
	入浴順番で並んでいるS様の車いすの安全ベルトが外れており、転倒していたらと思うとハツとしました。ご本人様が入浴前後外していることが多々あるようです。転倒の危険性を伝えて、声がけ確認をしてください
	S様:入浴前、廊下に待機されている際ベルトを外されていた。入浴前は、注視して動静把握に努めましょう。
	廊下にて、A様が他利用者様に掴みかかようとしていたところを、静止しました。利用者様にけがをさせていたらと思うとヒヤリとした。
	入浴介助時に不足品を取りに戻ると、A様が支援員室前付近に居るT様に向かって四つ這いで走っているのを発見して制止した。気付かずに掴みかかっていたらとヒヤリとし、当時、コール対応職員が少ない時間だった為、対応の難しさにハツとした。
	A様:早期6:50頃、A様が隣のA様の部屋入口にて廊下側に身を乗り出しているのを発見。A様に興奮状態は見られず、A様もベッド上半身を起こしており、平然としている。A様ボディチェックし、異常ないことを確認。直前に部屋にいたが、二つ先の他者を車いすに乗せている際に移動したと思われる。他害行為に発展するところで、ヒヤリとした
	A様:昼食12:40頃、A様の口腔ケアへ誘導する際献立表を見ているY様の左肩(服)を掴んでしまっていた。もし、皮膚を掴んでいたらと思うとヒヤリとした
	A様:6:40頃、N様の車椅子の車輪に掴みかかってしまった。怪我をしていたらと思うとヒヤリとした。
A様:利用者様が誰もいなかったのでトイレ介助中、入浴から戻られたH様の車いすをA様がかかっているのを発見する。声を掛け合い動静把握に努めます。	
A様:9:30頃 A様が居室から這い出し支援員室手前まで来たところで、職員が気づき声を掛け合い止める事ができた。支援員室前には他利用者もいたので事故に繋がっていたらとヒヤリとした。	
9:15 支援員室にて、F様の「やめて」という声があり、確認するとA様がF様の車いすの右ひじ掛けの下あたりをつかんでいるのを発見。F様は「腕などはつかまれていない」との事。腕等確認、外傷等なし。A様の動向確認ができておらずヒヤリとした。	
支援員室	10:00過ぎ「利用者の金銭(小遣い)が誰もいない支援員室の机の上に出しっぱなしの状態で放置されている」と報告あり。すぐに確認すると2名分の2000円が置いてある。朝、金銭担当者から預かってからずっとなのか、直前に金庫から出したものかは不明だが利用者の金銭に対する注意が怠っておりハツとする。
	F様:1F支援員室前を通りかかると、1F支援員室内に入室し冷蔵庫を開けて飲料の在庫確認をしておりハツとする。薬等も支援員室内の冷蔵庫で管理しており万が一事故に至っていたら考えるとヒヤリとした。本人の動静に注意してください。
	新年会のスクラッチが支援員室に置きっぱなしになっていた。当選したくじもあり、もし紛失していたらと思うとヒヤリとする。係りの連絡不足であり利用者様、関係された方にご迷惑をおかけしました。
	夜勤カゴが1階支援室の畳の部屋に置きっぱなしになっていた。夜勤明け者が気づかない事にヒヤリとした。
生活棟	生活棟へ活動に来たI様の左手、上着に便が付着していた。整容に対する職員の意識の低さにハツとする。
	活動にて体操に参加しているO様の右手を見るとひび割れ(乾燥)が悪化して聞き取りをすと昨日はワセリンを塗布しなかったと訴えがあった、就前時にワセリンを塗布することになっているが決まり事をまもれていない事にハツとする
	S様:9:00活動参加のため、生活棟へ来た際に手を見ると爪がだいぶ伸びていて割れている、深く爪が割れて出血したらと思うとハツとした。もし爪切りが業務時間(入浴の際)に難しい場合には検討する必要がある。
	F様:活動に来た際に車椅子のフットレストに両足が乗っていないことに気付く。先日調整したため足がしっかりと乗らないことは無く、調べてみるとロホクッションのエアが全部抜けていた。何の為にロホクッションを使用しているのか、意味がなくなってしまう。直ぐに気付いて対応できたが長時間ロホクッションを正しく使用できていないと考えるとヒヤリとした。
K様:PM活動時、車イスのベルトをさされていない状態で誘導される。何かの拍子に車イスから転落していたかとかと考えるとハツとした。	
洗面台	起床介助中、東側洗面所から大声が聞こえた為、そちらを見たところ、S様が洗面中であり、その車椅子左側を四つん這いのA様が掴みかかっているのを発見した。S様が怪我をしていたらとヒヤリとし、見守り不足にハツとした。※カメラ映像で確認し事故と判明、事故報告提出済
	A様:洗面台にいたS様の洋服をA様が掴んでいるところを発見する。体を掴まれていたらと思うとヒヤリとした。

洗面台	<p>A様: 14:10東洗面台前にてY様の袖を引っ張っているのを発見する。ご本人が廊下に出ているのを把握していたのにも関わらず事故への危機管理が薄い自身にヒヤリとする。</p> <p>T様: 4:45頃、自ら起床し洗面所へ行ってしまふ。気が付き居室に誘導し大事には至らなかったが、転倒していたと思うとヒヤリとした。</p> <p>T様: 6:00 東洗面所で洗面していたが職員はトランスしていない。怪我をしていたらと思うとヒヤリとした。</p> <p>T様: 21:50 東洗面台で物音がしたので行くと歯磨きをしている本人を発見する。自身で車椅子に移乗していた。もし転倒・転落をしたらと思うとヒヤリとした</p>
談話室	<p>6/30:H様: 7:20頃談話室前にて、食堂に誘導時移動中の車椅子の上にて急に腰を捻る体操を始め、移動中で危険であることを何度も声掛けをするが聞き入れてもらえず。そのまま落ちそうになり職員が支えるが転落していたと思うとヒヤリとした。</p> <p>F様: 10:45本人より自販機でジュースを購入したら商品、お釣りが出てこない弁償してほしいと訴えがあった。自販機トラブルが以前から多くあった為、先入観から本人の訴えを信じる事が出来なかった。結果は本人11/10ケース記録参照。事実を見極めることは大切であるが、利用者に寄り添う立場である自分が寄り添えなかった事にハツとした。</p> <p>10:30頃、A様の入浴後、談話室前でS様とすれ違う時に、左手をS様に伸ばしつかみそうになり、ヒヤリとした。</p>
エレベーター	<p>T様: 通院のため遅れて摂った夕食の後1階支援員室前で挨拶を交わしエレベーターに乗り込むが、その後30分ほどエレベーター内に留まっているのを他利用者が発見する。職員が気づけなかった事にハツとし、エアコンの利かない暑いエレベーターの中にいたため体調を崩していたらとヒヤリとする。</p> <p>朝食後二階に行く利用者に付いていたところ、エレベーター内にK様が一人で乗っており、エレベーターの手すりに車椅子が引っかかって出られない状態になっていた。「一人でエレベーター使わないで下さい」とお願いするも、「大丈夫。何々…」と弁解するが、よく聞き取れず。単独で、職員がいない時間にエレベーターを使用し、事故があっても気が付かないので、ヒヤリとした</p>
ボイラー室	<p>ボイラー室の電気が付いていると報告を受ける。電気節約が求められている中のミスでヒヤリとした。今後は、ボイラー室外からも窓を見て消灯を確認するようにします。</p>
厨房	<p>昼食のシチューの中に使用する鶏肉を入れ忘れた。</p>
園外	<p>静養室の窓外に様の食器、薬袋(7/8朝)が置かれていた。罹患者の食器であるため、しっかり破棄・洗浄する必要があるが、出来ていなかったことにハツとした。</p>
その他	<p>F様の家族に外出泊等確認状況連絡票の説明を失念してしまう。必要な書類への意識の低さにヒヤリとする。</p> <p>通所: 4月の予定表にてSS以外、通所で利用する箇所に入浴予定を表記していないことに指摘されて気付く。作成した時にしっかりとチェック出来ていないことにヒヤリとした</p> <p>リネンが全く不足していることにハツとした。倉庫の中に何も無いのを見て恐ろしささえ覚えた。自分の発注ミスであった。また、今週納入分も同様に不足する可能性が高く、利用者もとより、リネン交換担当者にも申し訳ない気持ちで、頭を下げ続ける思いであった。</p> <p>S様: 今朝8:30出発だが本人が玄関にいらっしやらないと連絡を受ける。部屋を訪問するとまだ外出準備もできておらず運転手様をお待たせすることになってしまった。その後の通所の送迎に影響が出てしまうと指摘されハツとした。前日に準備をしておくなど声かけをお願いします。</p> <p>訪問歯科があったにもかかわらず歯医者に声を掛けられるまで訪問歯科の準備をしていないことに気付かなかった。迷惑をかけてしまったことにハツとする。</p> <p>木曜日の午後のリネンの搬出の割り振りを忘れてしまい、金曜日の朝業者よりリネンの搬出がされていないと指摘され、金曜日の夜勤明け、早番の職員で急遽搬出を行う。朝の業務に支障をきたさせてしまったと同時に、リネン業者に多大な迷惑をおかけしてしまったことにハツとする。</p> <p>K様の指先に裂傷があり6/2午後入浴時、確認していたが日誌への記載が途中のまま退勤してしまい周知出来ていなかった。主任が夜間帯で確認し対応して下さり処置出来ていたが大きな悪化等になっていたらと思うとヒヤリとした。今後は気をつけて業務を行います。</p> <p>O様: 担当より午後に入浴するよう周知されていたが、午前中に入浴してしまいハツとした。今後は本人の入浴は午後にするよう全職員で対応しましょう。</p>
その他	<p>20:00頃T様が一階へと降りてこられる。不穏な様子であったため距離を開けて見守るが、しばらくして食堂へ向かわれると窓際まで来ておむろに鍵を開け、そのまま外へと出られてしまう。すぐに制止して施設内へと戻って頂くが、T様が一階へと降りられてきたこと、そして食堂へと向かわれたことに職員が気が付くことができなかつたらそのまま離脱されてしまっていたかもしれないと思いハツとした。</p> <p>M様: 7/6(昨日)にトイレ対応し排便があるが排泄表に記入をせず退勤してしまい、排便-2日となってしまふ。夜勤明け職員、早番職員が下剤を服薬させる前にご本人に確認し排便があることが発覚し服薬せず。記入忘れにより誤薬させてしまっていたらと思うとヒヤリとした。</p> <p>感染症の対応がなされている期間であるにも関わらず、金曜日に搬出・回収がされていた。M様が発熱し陽性が疑われていたにも関わらず通常の回収がされてしまっており、感染症を広げかねない対応にヒヤリとする。また、意図がなかなか伝わらないことに自身の伝達力のなさ周知不足にハツとする。</p> <p>M様: 昨日昼に排便が少量あったが、排泄確認表に記入を忘れてしまったが、ご本人が排便のあったことを職員に伝えたので、誤薬せずに済んだ。もし服用していたらと考えるとヒヤリとした</p> <p>手指消毒用アルコールの種類が変わり別メーカーに発注すべきだったが、以前の発注先に頼んでしまふ。時間が経ってから指摘され気づいたがアルコールが無くなってしまったらと思うとヒヤリとした。</p> <p>F様の発作があり、急変に備えサマリーを出すよう指示あり。プリントアウトしようとするがコピー機が作動せず。やり方を変え2回ほど繰り返すが作動せず。コピー機を確認すると用紙トレーがわずかに開いており、きちんと閉めるとすぐに作動した。が、同じ用紙を3回分もプリントアウトしてしまい余計な経費をかけてしまったことにヒヤリとする。また、休日は職員の数も少なく、万が一救急車を呼んでからサマリーを出すことになっていたら、もっと慌てていたと思うとさらにヒヤリとした。</p> <p>Y様、事故の件について当日に事故がありカメラで確認後、日直、夜勤者に指示を出すのが指示が実行されていなくヒヤリとした。Y様には大変ご迷惑をおかけした。</p> <p>O様が、外泊時に持参していたハンドバッグから、菓子2点を発見する。そのまま判明せずに、傷んだ物を口にしていたらとヒヤリとする。</p>

その他	<p>W様:出席表を確認するとチェックがなく在籍確認もするが確認できなかった為、入所棟へ連絡を入れる、居室にて確認できたが誘導忘れがありPMの活動不参加であった。誘導忘れもあるがチェック表を使用しているのに確認されるまでかなりの時間を要した事にヒヤリとした。</p> <p>3日の夜間、H様痛み止め(ロキソニン錠)服用したが、記録に残さずにいたことを本日出勤後に指摘され、確認を求められ、ハツとした。この間、残数が合わないのを確認していた職員に申し訳ないと謝罪した。</p> <p>通所利用後、帰宅したT様母よりフェスタオルが入っていないと連絡あり。洗濯場を探すと本人のフェスタオルが見つかり、母へ謝罪の連絡を入れる。入浴の際に通所者のものと入所者のものが一緒になってしまった。以前も同様の事があり通所用のカゴを用意しているのにも関わらず同様の事が繰り返されることにハツとする。</p> <p>本日の予定に「生活介護外出レクPM」のみ記入あり。利用者様名が記入されておらず夜勤(配薬者)がケース記録を見て外出された利用者について夜間帯の記録を行った。日中勤務された職員にも外出される方が誰なのか一目で分からない事にヒヤリとした。</p> <p>A様:昨日、夕食の際に発作があり舌を噛まないように布を巻いた棒を使用した。1本は輪ゴムで固定してあった為、ゴムが溶けて使用不可であった。もう1本は使用出来たが、緊急時に使用出来ないとは管理不足でヒヤリとした。以後定期的にチェックしていきます。対応策として輪ゴム固定ではなく風紐で固定(劣化しにくいため)</p> <p>F1様に渡す予定であった金庫預かりの1000円をF2様に渡してしまう。他職員が気づき、F2様に説明し返却して頂くが名前の確認不足や自身の思い込みで起きてしまい、大きなトラブルになりかけていた事にヒヤリとする</p> <p>朝の経管栄養の準備をしようとした所、ツインラインのT様～在庫なし。K様、I様～最後の1個であった。最後の1個を使った勤務員からの連携不足にヒヤリとし、週末で使用数が多いのに、夜勤入りに自身で確認しなかったことにハツとした。</p> <p>上記の件に関して担当として確認不足にハツとする。ナース室よりT様・I様・K様のツインライン1ケースづつお借りしました。対応が遅くなりすみませんでした。普段は、事務所の倉庫にて保管してあり少なくなったら支援室に持ってきています。今後は、このようなことが無いよう注意致します。</p> <p>組織図を理解してなく生活介護の連絡事項等をとばしていた事に気づきハツとする。</p> <p>O様:14時面会予定になっていたが入浴してしまい面会時間が遅れてしまう。面会できなかったと思うとヒヤリとする。Faと本人に謝罪する。確認不足でした。今後注意いたします。申し訳ありませんでした。</p> <p>T様:転倒事故による通院から帰園後、ビデオ検証により、自分の認識していた受傷箇所と相違があることが判明した。正確な情報収集ができていなかったことにハツとした。</p> <p>12月の理髪を支払いに間違いがありヒヤリとする。12月に理髪を予定していた利用者がその日は行わず、実施欄のチェックは消し、人数もマイナスしていたが、名前は消しておらず請求がかけられてしまっていた。利用者の金銭にかかわることなので、確認、報告を怠らぬよう注意して対応に当たります。関係各所の皆様、ご迷惑をおかけいたしました。</p> <p>S様のセーター(毛100%)が縮んでしまった。洗濯に出す時にドライのカゴに入れなかった職員がいる事にヒヤリとした。また26日(木)入浴の際、カゴに縮んだセーターが入っていた。明らかにS様には小さいセーターで着られない物。入浴準備した職員の利用者様に対する思いの低さにヒヤリとする</p> <p>名前の似た商品を誤って購入してしまう。返品可能で事なきを得たが、購入頻度が低い商品もしっかり覚えなければいけないとハツとした。</p> <p>2/6の業務日誌を操作間違いにて、消してしまいハツとした。もし復旧できなければと思うと、いたたまれなくなった。</p> <p>健康診断にて私の指示がうまく伝わらず運転手が先にバスに乗って帰園してしまう。問題点として通所送迎の時間と健康診断の時間が重複してしまう為、今後は通所送迎に対応している運転手と課長、主任が健康診断の際は被らないよう配置、通所送迎の時間に間に合わなくても他でフォローできるようにしていき事を改善策とする。</p> <p>ネットワークメンテナンス時に瞬断が発生し、記録者の一時データが消えてしまう。ご迷惑をおかけしました。</p> <p>AMの入浴準備で浴室を訪れた職員より浴室のエアコン、浴槽の電源、換気扇がつけっぱなし。また、シャワーからもお湯がもれて床が濡れている状態であったとの報告を受け省エネの観点から大変ヒヤリとする。入浴後最後に浴室を出た方、入浴責任者、遅番がそれぞれ確認を行っていれば防げたことです。</p> <p>事業報告の自分の担当分の提出を1つ忘れていた。原稿確認中に指摘されて気づいたが、去年と同じものが提出されており、気づかずに配布してしまったらと思うとハツとした。</p> <p>研修の請求書を紛失してしまう。支払期限には間に合ったが研修を受けられない職員がいたかと思うとヒヤリとする。今後請求書の管理を徹底したい。</p> <p>特殊勤務手当の調整の際に勘違いをして一部のパート職員に誤った額を支給してしまう。計画後変更なく支給していると思込んでしまったことが原因。調整する際に計画案と実際に支給していた額が一致しているか確認すべきであったが、怠ってしまった。ミスに気が付き該当職員に謝罪し、次月調整させていただく。</p> <p>新しい受給者証が来たが、区分が変更になっていることに気づかずに登録してしまう。システム登録時のチェック項目を明確にし再発防止致します。</p> <p>朝パソコンを立上げた際に、個人情報記載されている書類をコピー機から取り忘れてしまった。自分の意識のなさにハツとした。以後気を付けます</p> <p>職員の表彰管理ファイルで職員1名の勤続年数の数式が誤っていることに気が付く。再計算すると本来なら表彰者であったためヒヤリとする。園長に報告し、該当職員へ謝罪し、今年度式典で表彰できなかったため、来年度表彰することに同意していただく。</p> <p>記録が残っていないため、施設都合キャンセルの通所の欠席加算を請求してしまう。事務所側から状況が分からないため保護者への連絡などは確実に記録を残して下さい。</p> <p>突発年休者の御弁当キャンセルをし忘れる。連絡不足であり指摘されるまで気付かなかったことにヒヤリとした。</p>
-----	---

利用者別リスク因子・改善策

No	今年度報告 事故件数	リスク因子	改善策
1	4	①バルーン抜去 ②トランス ③褥瘡 ④車椅子からの転落	①オムツ交換時、体交時、トランス時等抜けない様に注意する。 ②2人対応で声を掛けあい、ぶつからない様に注意する。 ③体交による定期的な除圧をしっかりと行う様にする。 ④物を拾おうとして前かがみになることがあるので物を落とすときは無理をせず職員に声をかけるよう本人に話す。
2	4	①暴言 ②トイレ排泄 ③食事	①機嫌が悪い時や眠気がある時には、言葉が荒くなってしまう。手を振り回したり、机を叩いたりすることもあるので他者とのトラブルにならないよう注意する。 ②立位が不安定な時もあるので2人介助にてトイレに座っていただく。また、トイレに座っている時はトイレのベルトと個人のベルトを着用していただく。 ③食事の拒否がある。優しい言葉かけや見守り、時間を置いてなどの工夫を行い本人のペースに合わせ支援をする。
3	7	①車椅子からの転落 ②単独での車椅子移乗	①職員の見守りを強化し居室の環境整理を行う。 ②職員の見守りの強化を図り、移乗時にはナースコールを押していただく事を習慣としていただけるように支援する。
4	13	①転倒 ②誤嚥 ③他の利用者とのトラブル	①車椅子、ベット移乗時に姿勢保持不安定のため注意が必要。車椅子への移乗は誘導する直前に行い見守りが必要。 ②咽込みのない誤嚥あり。姿勢を正しく取り前傾にならないように注意が必要。ゆっくり咀嚼しながら食べてもらい、本人の食べるペースに合わせて介助を行なう。 ③誘導時、他利用者との間隔を開けて誘導し、掴みかかりに注意を払い防止する。ご本人単独での行動は控えてもらい、職員が付き添い、職員同士連携をはかりながら見守りを行なう。
5	5	①多動 ②発作 ③転倒 ④服薬ミス	①誘導の際に車椅子の上にて時々体を前後に大きく動かし車椅子が揺れるので注意しながら誘導を行う。 ②夜間、日中とわず発作を起こすときがあるので対応の周知。また、発作が起こった時の状況等も詳しく記録を行う。 ③車椅子から立ち上がる際には、転倒のリスクがあるのですぐに対応できるよう注意しながら対応する。 ④多動によるベッドからの転落を防ぐ。
6	0	①皮膚トラブル ②トランス時	①皮膚所対応の観察を行い、清潔に保つ。適時、薬の塗布を行う。 ②2名でのトランス時、職員同士声を掛け合いタイミングを合わせて実施する。
7	0	①転倒 ②不穏状態時の行動 ③車椅子への移乗	①車椅子乗車中、不穏になり車椅子ごと転倒したことがある、トイレ介助時や歩行時なども注意して介助を行なう。 ②居室に居る際、急に不穏になる事がある。落ち着くまでは職員同士連携をしながら見守りを強化していく。居室は床の対応なので突然の立ち上がりには注意を図る。居室内で不穏になる予兆を観察し、職員間で連携、周知し不穏行動を未然に防ぐ。 ③床から急に立ち上がるため、車椅子と本人の位置に注意して移乗介助を行う。
8	2	①職員への危害 ②転倒	①精神の不安定な利用者に対しては職員が一定の距離を保ち支援を行う様にする。 ②利用者の動向確認の強化
9	7	①他害行為 ②皮膚トラブル ③車椅子よりずり落ち	①動静把握。見守り。対象者との接触、接近に注意。 ②清潔保持。入浴時、排泄交換時の患部の確認、早期の対応。 ③ベルトの適切な使用。車椅子、クッションの検討変更。
10	2	①皮下出血 ②(コロナ禍の蔓延防止体制下) 経管栄養摂取ながら、経口摂取させてしまう	①体位交換など、体を動かす際、擦らないようにし、柵の位置にも注意する。 ②注意の徹底。居室での摂取には事前に他の職員と確認の連携を取って行う。
11	1	①誤薬	①職員間の連携の強化を図る。
12	1	①発作時の姿勢崩れ ②車椅子乗車時の急な立ち上がりや転倒	①車椅子乗車時の見守り ②居室に居る際にはベッドに移乗して頂き職員間の連携で見守りを強化する。

No	今年度報告 事故件数	リスク因子	改善策
13	5	①ベットのブレーキ忘れ ②他利用者への他傷行為 ③乾燥、不衛生などによる皮膚トラブル ④車椅子からのずり落ち ⑤トランス時の手の巻き込み ⑥ベッド上での多動によるベッド柵での打ち身、外傷 ⑦ベッド上での痣 ⑧ラキソでの誤薬 ⑨皮下出血	①シーツ交換時等、ベッドを動かした際のブレーキの確認。 ②トラブル者との接触を避ける。 ③適宜に皮膚科受診し薬を塗布する。 ④見守りの強化。 ⑤トランス時等注意を払う。 ⑥ベッド柵へ保護材を巻き、ぶつかってしまった際の衝撃を弱める。 ⑦ベッド柵及びベットの検討。 ⑧ダブルチェックを行なう ⑨安全に対応が出来るように注意する。
14	1	①ベルトの装着忘れ ②車椅子の乗車姿勢(足組み、ずり落ち) ③深爪 ④ベッド上での体勢の変化⑤ストレッチャーへのトランス時の手や足の接触 ⑥痣	①車椅子へ移乗の際はベルトの確認。 ②足組み、ずり落ち、気付いたときにその都度直す。 ③爪切りの際、適切な長さで切る。 ④ベッドへ移乗したら必ず柵をする。柵の隙間への挟まれに注意。 ⑤ストレッチャーへトランスする際はストレッチャーの柵が下がっているのを確認し行う。 ⑥利用者の行動観察の徹底。
15	0	①暴言 ②便座上での姿勢	①言葉使いが悪く適切でない言葉を使用してしまう事があるのでその都度、その場で注意を行う。 ②足の拘縮が強く便座上での姿勢が不安定なのでしっかり支え、安全に排泄できる様にする。
16	8	①転倒 ②不穏状態時の行動	①急な立ち止まりに注意して誘導を行う。本人の右側に立ち腕を組むように歩行する。 ②居室に居る際、不穏になる事がある。不穏になると爪をむいたり手を噛んだりと自傷行為をしてしまうため落ち着くまでは職員同士連携をしながら見守りを強化していく。
17	0	①歩行時 ②異食 ③生活棟内においてマットよりフロアへの這い出し ④不穏時(声上げ時) ⑤身体の打ち身	①歩行時の膝折れによる転倒に注意。 ②ベッド移乗時、居室にて車椅子上で待機する場合、靴下は必ず脱がせる(口に入れてしまう為)。 ③他ケースの車椅子にひかれないよう環境作りし注意する。 ④外気浴や音楽鑑賞にて気分転換を図る。 ⑤ベッド上で自ら動き柵にぶついたり、移乗の際職員の肩に顔をぶつける事の無いよう注意。
18	0	①立位時	①車椅子やトイレなどの移乗を必要とする時は職員に支援を要請するようにする。
19	1	①車イス上での姿勢 ②誤嚥 ③褥瘡 ④せん妄	①車イス上で安心して過ごせるよう、クッションを使用して体の負担や痛みを繋がない様にする。 ②本人の様子を確認し、誤嚥にならない様に食べる姿勢に注意する。摂食計画に則って順次回数や形態を見直していく。 ③経管栄養処方の為、同じ姿勢で過ごすことが多い。体交枕やクッションを使用して除圧する。 ④普段から聴き取りをして問題を抱え込まないようにする。ノートとケース記録へ起きたことや発言を残しておく事実をお伝えして理解を促す。
20	2	①車椅子上での体動 ②指しゃぶり、垂涎 ③拘縮、骨折	①体動が激しい時がある為、車椅子が動いてしまったり、転倒の可能性はある。車椅子乗車時には気を付けて見守る必要がある。 ②指しゃぶりを頻度が多い為、手指が不潔にならないよう注意が必要である。ウェットティッシュ等使用し手指を常に清潔に保つ。また垂涎があるのでバスタオルなどを活用して、衣類や車椅子のベルトが汚染されないように整えておく必要がある。 ③拘縮が強く、不随意に、外的刺激によっても瞬発的な伸縮動作がある為、オムツ交換時、移乗時には職員二人体制にて対応し、関節や骨に強い外力が加わらない様に注意する必要がある。
21	2	①車椅子での自走 ②自傷行為による皮膚トラブル ③暴言	①車椅子からのずり落ちに注意し、適宜声掛けを行う。 ②精神的ストレスによる自傷行為があるので本人の話しをよく聞き精神の安定に努める様にする。 ③精神の安定を図り、話しを聞き本人の意思に寄り添い支援する様にする。
22	0	①トイレ時の立位 ②言動(暴言)	①起立時、ふらつかないようにしっかり支え確認しながら介助する。本人の状態に応じて二人対応とし安全に立位してもらう。 ②新人職員・他利用者等に対し、言動がきつい時があり。その都度注意する。良好な関係になれるよう環境作りしていく。
23	1	①気管孔の管理ミスによる呼吸困難及び誤嚥	①医師からの指示、マニュアルに沿った対応を徹底。
24	4	①経管栄養の漏れ ②誤薬、与薬もれ ③体交時に体をぶつける	①経管栄養を流す前に必ず、ベッドのギャッジアップの角度、接続部がしっかりと嵌っているか等の確認する。 ②与薬前に職員二人で確認する。 ③体交時は身体的位置の確認、顔が柵に当たらない様にクッションを使用し慎重に体交を行う。

NO	今年度報告 事故件数	リスク因子	改善策
25	0	①転倒 ②皮膚トラブル(乾燥肌)	①随時リハビリの一環として歩行訓練を行っている為。見守りや職員の声掛けが必要である。 ②清潔を保持し、乾燥する冬場はワセリンやクリームをつけ保湿を保つようにする。
26	1	①転倒	①車椅子⇄ベッドへ移乗の際、少しでも不安がある場合は必ずナースコールで職員を呼んでもらい、見守りや対応の支援を行う。移乗の際は車椅子のブレーキをかけ靴をきちんと履いた状態で行っていただく。また、本人に危険であることを認識してもらえるよう、随時声掛け注意を促す。用件がある時はナースコールで職員を呼び依頼するように話す。
27	1	①車椅子の誤操作による事故 ②トランスファー	①焦らず操作するように声を掛けていき、また本人が車椅子を操作している際に周りの職員は注意し見守りする。 ②3人対応にて声を掛けあい足がぶつからない様に注意してトランスを行う様にする。
28	1	①誤嚥 ②誘導・ベルト着用 ③車椅子上	①食事の際、むせ込みが多い為誤嚥に注意し介助する。また、急いで食べないよう声をかけ、ゆっくり食事ができる様にする。 ②誘導時車椅子からの前方に転倒する恐れがあるので乗車の際は必ずベルトを確認し、誘導する。 ③腕などが外に出やすい為、車椅子上にいる際は確認するようにする。
29	1	①カテーテル抜け ②他者とのトラブル ③嚙下に注意	①トランス時カテーテルが抜けない様に注意を払う。2人でのトランスを行う。 ②他利用者様との距離を保ち、接触の恐れがある時は支援員が間に入って声掛けする。 ③配膳時、早食いににならない様に声掛けや見守りを行う。予定の時間を伝えて気持ちの余裕を持ってもらう。
30	2	①足の蹴り上げ ②車椅子に移乗後のベルト装着忘れ ③声上げによる他者とのトラブル ④爪切り	①足ベルトで固定する。また、車椅子上以外では職員の声掛け等で本人に注意を促す。 ②職員が車椅子に移乗後、必ず確認する。 ③声上げの要因を言葉掛けなどして傾聴し、減少させる。 ④指の変形に注意しながら行う。爪の変形(巻き爪、爪白癬)に関しては看護師に依頼する。
31	1	①車椅子上での姿勢・誘導 ②他者とのトラブル ③嚙下に注意	①車椅子上にて過ごされる際はベルト着用し落しに注意する。職員にて姿勢保持に努める。誘導の際は足が地面につかぬよう注意し行う。 ②自走中や他の利用者のそばに行った時、洗面台からのバック走行時等はトラブルにならない様見守り、声掛けを行う。 ③ゆっくり食べる様に声掛けや見守りを行い、状況によっては介助にて対応する。 ④爪切り時、癒着部分に留意する。
32	2	①皮膚トラブル ②車椅子での自走 ③与薬忘れ ④爪切り ⑤移乗時のケガ ⑥ワーファリン服用(止血しづらい) ⑦Baカテーテルの抜去	①清潔保持を徹底し、皮膚トラブルを未然に防ぐ。 ②他利用者との接触が起こらないよう、声掛けしていく。 ③薬局で渡される際、処方内容とあっているかの確認を行い、薬のミスにならない様注意する。 ④自力での爪切りは控えて頂き、職員対応とする。 ⑤ベッド～車椅子への移乗の際、必ず靴下や靴を履いて足先を保護してから行う。 ⑥ワーファリンを服用している為、出血時には止血しづらい。出血を伴う怪我をしない様注意。 ⑦移乗時などBaカテーテルが引っ掛かり抜去しない様注意。バルーンがしばみ自然抜去も起こり得る為、時々挿入部の確認を行う。
33	0	①転倒 ②他者とのトラブル	①立位時にバランスを崩しやすいので、しっかり支える介助が必要。 ②他者への暴言、大声等があり。職員が声掛け、傾聴し軽減していく。
34	0	①転倒転落 ②誤嚥	①本人とのタイミングを合わせたトランス。車椅子上での姿勢が傾くときにはその都度、姿勢の調整を行う。 ②本人の様子を確認し、誤嚥にならない様に食べる姿勢に注意する。
35	1	①転倒 ②不穏時の対応 ③園外移動 ④他利用者への危害	①自ら立位がとれ歩行もできるので不安な様子がある時は声掛けを行うとともに転倒に繋がらないよう見守る。 ②本人の言葉に耳を傾け否定等することなく落ち着いて話を行い見守る。 ③定時にて居場所を確認する。 ④動静の把握に努め、他者に危害が及ばないよう事前に防げるよう見守りを行う。
36	0	①転倒	①自ら立位がとれ歩行もできる為、危険予測出来る時には、声掛けと見守りを行う。
37	2	①転倒 ②物忘れがある ③自覚のない怪我	①トイレや居室での立位に不安がある時は、職員による対応を行う。 ②声掛けを行なうとともに、薬の服用については確認をする。 ③日常動作時の怪我に注意するよう声掛けを行う。

NO	今年度報告 事故件数	リスク因子	改善策
38	4	①電動車いすの操縦 ②皮膚トラブル	①自走中、急に止まったりバック走行することがある。その都度声掛けを行ない事故の無い様に注意する。 ②清潔保持を徹底し、皮膚トラブルを未然に防ぐ。衣類は肌に刺激を与えない様、可能な物から綿100%の物に変更していく。
39	1	①転倒 ②自傷	①居室内及びトイレ内にて立ち上がり行動される事がある為、随時声掛けを行い注意を促すと共に動線の整理を行う。 ②普段から聴き取りを行い問題を抱え込まないようにする。動静に不穏な様子が見られた場合、記録へ残り支援員同士連携を取って見守りを強化する。
40	1	①トランス時の手の巻き込み ②車椅子乗車時の姿勢 ③発作 ④打撲・骨折	①患側の腕がぶらんとなくなってしまうのでトランス時に本人に手を持っていただき注意してトランスを行う。 ②車椅子乗車中、身体が右側や前側に傾いてしまい姿勢が戻せない時がある。転倒にも繋がるので注意しその都度体勢を直す。 ③対応の周知。発作時は処方方の坐薬の使用。また、発作が起こった時の状況等も詳しく記録を行う。 ④以前骨折をしたことがあるのでオムツ交換等無理に動かしたり過剰な力を加えないよう注意する。また、食堂のテーブル、洗面台などに膝を当てないように注意する。
41	2	①前のめりに倒れる、転倒 ②幻覚・幻聴	①前傾姿勢での移動が多い為職員は本人への声掛けを強化する。又トイレにてコールを押さず一人で行ってしまうことがある為本人の動きを予測し声掛けをする。日常的にヘッドギアを装着することで頭部外傷のリスクを軽減する。 ②傾聴し、本人の不安を取り覗ける様に心掛ける。
42	1	①車イス上での姿勢 ②誤嚥 ③褥瘡	①車イス上で安心して過ごせるよう、リクライニング機能を活かし体の負担や痛みに関係がない様にする。 ②本人の様子を確認し、誤嚥にならない様に食べる姿勢に注意する。 ③体交による定期的な除圧を行う。
43	4	①車椅子からの転落 ②排泄時の事故	①車椅子上での姿勢、足の状態に注意を払い、安全に移動できる様にする。 ②排泄時の怪我に注意し、必要に応じて声掛け・見守りを行う。
44	4	①単独起立での転倒	①常時の声掛けや動静把握を行う。
45	0	①転倒 ②褥瘡	①上半身の力があるため、力の入れ具合や乗車姿勢に注意が必要。 ②褥瘡部の悪化の恐れがあるため、車椅子乗車姿勢に気を付けて頂く必要あり。
46	0	①車椅子の自走 ②パウチ造設	①車椅子乗車の姿勢がリクライニングできない為、注意が必要。本人は、理解している。 ②パウチを使用しているため、皮膚トラブルに注意が必要。入浴時や交換時に患部の状態を把握する必要性あり。
47	2	①トイレや廊下での立位時の転倒 ②車イスへのトランス時に足が絡まることある ③皮膚トラブル ④爪剥がれ	①トイレでの移乗は職員がしっかり支え、廊下での訓練中は声掛けや見守りを行う。 ②移乗後ずり落ちないように支え、体の引き上げるなど体勢の立て直しをする。また車イスのステップをしっかり置く。 ③鼠径部の皮膚トラブルが悪化しないよう、清潔の保持を徹底する。右足踵部の皮膚トラブルは柔らかい素材の靴に変更し、負担がかからないようする。また、角質除去のケアを行なう。 ④爪切りを細目に行い、靴下などに爪が引っ掛からないようにする。
48	1	①車イス上などでの前傾姿勢 ②移乗時の転倒 ③排泄での衛生面	①姿勢を正すように、適宜声掛けを行っていく。また、ヘッドギアやベルトの装着忘れがないように注意する。 ②車椅子移乗時姿勢が不安定な為、職員がしっかりと介助を行う。 ③失禁で不衛生にならないよう、職員が声掛けを行いトイレでの排泄意識を高めるようにする。

利用者別危険因子現況

居室	利用者名	今年度報告事故件数	リスク因子	改善策
通所	1	0	①転倒	①体が傾いて歩行するが問題なく歩行できる。一步が出れば安定して歩行できる。 声掛けをして本人のペースで歩行していただく。
通所	3	0	①座り込んでしまう ②食事で咽込む事がある	①本人の気持ちが落ち着いてから、歩行をする。 ②ゆっくり声をかけながら、のみ込んだことを確認する。
通所	4	0	①眠気が強いことがある ②移乗時に転落	①介助に入る職員は声を掛けて起きてもらうように促す。 ②本人に声を掛けて職員間で確認し合いながら移乗する。
通所	5	0	①耳が遠く声掛けが届かない時がある	①本人の耳元ではっきりと声をかける。(左耳に補聴器を使用)
通所		0	①他利用者への危害 ②歩行	①動静の把握に努め、他者に危害が及ばないよう事前に防げるよう見守りを行う。 ②状況により若干ふらつきがある為、単独での歩行でなく見守りが必要。
ショートステイ	12	0	①居室内での行動把握 ②体調管理	①本人負担にならないような訪室・声掛け。 ②血圧が高い為、状態の確認を行っていく。
ショートステイ	13	0	①居室内での行動把握	①本人負担にならないような訪室・声掛け。 ②血圧、脈が高い時がある。変化がある場合家族へ情報報告をする。

危険因子発生予測状況・改善策(生活支援課)

状況別

区分	状況	改善策
車椅子からずり落ちる	①車椅子が身体に合っていない。 ②適切なベルトの使用が出来ていない。 ③体調不良からくる姿勢保持の困難。 ④物を取ろうとして前傾姿勢になり転倒。	①車椅子の変更。 ②適切なベルトの使用。 ③体調不良時は見守り・介助にて移動する。 ④必ず職員を呼ぶ、リスクの説明。
車椅子ごと転倒	①床に落ちた物を拾おうとして転倒。タンスや床においてある荷物を整理している最中に転倒。足で床を蹴りそのまま転倒。 ②ドアの引き戸を開閉する時にそのまま転倒。 ③転倒防止バーの緩み・外れ。	①低い位置にある物を取るときは必ず職員に声をかけるように助言支援。転倒しやすい利用者にはタンス使用を控えてもらう。低床の物を置く台を使用してもらう。危険な箇所(非常口)の単独移動の禁止。 ②居室ドアの改善。 ③随時点検し、ゆるんでいる場合は締めておく。
車椅子から起立時転倒	①トイレや居室での単独での起立・移動により転倒。体調不良からくる転倒。 ②靴をしっかりと履かず起立・移動により転倒。	①利用者のADL変化の把握。体調不良時は介助にて移乗するように促す。 ②靴がきちんと履けているか・傷んでいないか確認。
車椅子の車輪に指を挟む	①車輪に指を挟み出血する。	①指が挟まらないように車輪にカバーを付ける。
トランスファーの失敗	①職員の介護技術の未熟さからくる事故。 ②無理な体勢からのトランスファーからくる事故。	①新任職員への指導。 ②介護の基本に則ったトランスファーの実施。
ウロバックの外れ	①ベットへの移乗時ウロバックのつなぎ目が外れる。 ②本人が引っ張ってしまい外れてしまう。	①カテーテル使用者の把握。 ②巡視強化。
ストレッチャーから転落	柵・ベルトの装着忘れ。利用者の体動による転落。	ストレッチャーに移乗したら素早く柵・ベルトを装着する。
ベッドから転落	①利用者自らが柵を抜いてしまい転落。夜間、利用者が寝返りを打ち、下に身体を持っていかれて柵の隙間から転落。 ②職員の柵の入れ忘れ。	①柵を抜いてしまう利用者に関してはヒモ等で固定する。柵の設置箇所の見直し。柵の点検。柵の改良。 ②利用者毎の使用している柵の数を把握しておき、不足のないように支援を行う。
歩行中転倒	必要以上に長い距離を移動することによる転倒。歩行訓練中、廊下が濡れていたことにより滑って転倒。夜間、暗闇の中での移動による転倒。靴をしっかりと履かないことによる転倒。体調不良によるめまいがあり転倒。	ヘッドギアを装着させる。入浴時はモップを常備し、廊下に水滴を残さないようにその都度、拭くようにする。利用者のADL変化の把握。体調不良時は介助にて移動してもらうように促す。車イスをそばに付けてから立ち上がるように促す。
火傷	①利用者が自らコップを倒してお茶がこぼれてしまう。職員がお茶を提供するときに誤ってこぼしてしまう。 ②洗濯機内のお湯が漏れたことによるもの。 ③浴室のお湯によるもの。 ④トイレの便座により低温火傷	①白湯を入れて火傷しない温度にしておく。お茶の提供後はやかんを厨房へ戻して利用者の手に触れないようにする。利用者の間近でお茶を注がないようにする。 ②洗濯機の点検。 ③浴槽の給湯口に利用者を近づけない。 ④便座の温度設定を低温に。トイレ内利用者の把握、職員同士声掛けを行う。
誤薬	①職員のミスによる事故。 ②利用者の自己判断による薬の重複。 ③落ちていた薬を発見	①マニュアルの徹底(日付・氏名の確認)。服用させた後も、きちんと飲み込めたか見守りをする。 ②利用者の勝手な判断による薬の服用や持ち込みはしないように注意を促す。 ③配薬、与薬マニュアル徹底(飲んだかの確認)
無外	①精神的に不安定な状態の際に発生しやすい。 ②面会者の勝手な判断によるもの。	①状況を把握して、情報を共有化し防止に努める。 ②モニターの活用。事務所職員との協力体制。面会簿、名札による面会者の把握、および遵守事項の周知。
他ケースとのトラブル	①決まった人間関係の中で発生していることが多い。精神的に不安定な状態で起こることが多い。	①トラブルの発生しやすいケース同士の接触を避けるような配置を職員が配慮する。支援員室前などに利用者を集め、長時間そのままにしておくことのないようにする。

発生場所

場所	状況	改善策
居室	①棚・タンスの物の乱雑。 ②ほこりや水ぶき残りの滑り。 ③コード類の乱雑。 ④床に物が乱雑に置いてある。 ⑤ベッドからの転落。 ⑥トラッキングによる火災発生。 ⑦眠前薬の与薬ミス。	①③④整理整頓の徹底。 ②清掃の徹底 ⑤ベッド柵の固定。 ⑥定期的な電気プラグの清掃。 ⑦方が一落としても分かるよう、電気をきちんと付けて対応。慌てず、与薬に集中する。与薬マニュアルに則った対応を行う。
トイレ	①清掃後の水溜りや利用者手洗後の水溜りによる滑り ②1階職員用(西)トイレに手摺り無し。 ③便座の位置が高い。 ④トイレが狭い。 ⑤出入り口が狭い為ぶつかる。 ⑥尿器立て付近狭い。 ⑦薬液等の出しっ放し。 ⑧手摺りが滑る。 ⑨ベルトの傷み。 ⑩入所棟と生活棟の手すりの位置や幅の違い。	①清掃の徹底、タイル床の改善 ②至急取り付け。 ③④⑤⑥可能であれば改善。 ⑦整理整頓の徹底。 ⑧滑り止めを付ける。 ⑨発見次第修理する。 ⑩移乗介助時、違いを理解し注意を払う。便座にまっすぐ利用者が座れているかどうか都度確認する。
廊下	①掲示物に画紙が使われている。 ②壁の観葉植物用鉢及び高さ。 ③ストレッチャー使用後の水溜り及び水ぶきの後の滑り ④洗面所からこぼれた水により滑る。 ⑤支援員室のカウンター上の物。 ⑥利用者同士がすれ違う際の車イスの衝突。 ⑦足で車イスが漕げるにも関わらず、手すりを使って漕ぐ利用者がある。 ⑧渡り廊下での死角による事故	①マグネット方式に替える。 ②撤去するか位置を高くする。車イス導線に入らないように配置する。 ③④清掃の徹底。 ⑤カウンターの補強及び重荷物は載せない。 ⑥狭い所を無理して通らないように声掛け。自力移動不可の利用者を、廊下に長時間留めない。 ⑦発見したらすぐに注意する。守れない利用者には繰り返し注意する。 ⑧監視カメラで死角部分を補う。
食堂	①掲示物に画紙が使われている。 ②床の汚れ及び水ぶき後の滑り。 ③サイドテーブルの急な落下。 ④テーブルの角。 ⑤車椅子用テーブルの棘及び釘の凸。 ⑥陶器製の食器やコップ。 ⑦介助用テーブルの両端が落ちる。 ⑧隣同士の利用者のトラブル。 ⑨誤薬・与薬忘れ ⑩配膳ミス ⑪食べ物以外を口に入れる。 ⑫電動車椅子でテーブルが動く	①マグネット方式に替える。 ②清掃の徹底。 ③至急修理。 ④カバーの取り付け。 ⑤修理又は買い替え。 ⑥セラミック製に買い換え。 ⑦移動後は固定し直す。物を載せたまま移動させない。 ⑧利用者間の人間関係を把握し、座席変更も考慮する。 ⑨与薬マニュアルに則った対応を行う。 ⑩落ちて配膳する。 ⑪利用者の手の届かない場所に置く。 ⑫食堂内は手動で職員にて誘導する。
浴室	①水たまりによる滑り。 ②一般浴の浴室と脱衣場の段差。マットの繋ぎのずれによる転倒。 ③籠を棚の上段に置いた時の落下。 ④ストレッチャーのずれ(浴槽⇄車台時、高さのずれ及び横位置のずれからのレールからの脱輪)。 ⑤蛇口の不良。 ⑥着脱後から入浴を待っている間のベルトの装着忘れ。 ⑦熱湯による火傷	①排水良化へ改善(床材の変更又は床微斜傾)。 ②段差の改善及びマットの正しい設置。 ③棚の上段に置かない。 ④機械の慎重な取り扱い。 ⑤その都度、温度の確認するとともに至急修理。 ⑥待っているわずかな時間でもベルトを装着する。 ⑦熱湯の出ているところには利用者を近づけない(熱湯箇所を囲う)
談話室	①床の塗装の凹凸。 ②床に飲みこぼしが多く滑りやすい。 ③早朝や夕方以降集まっている利用者の動静が把握しにくい。	①塗装の塗り替え。 ②飲みこぼしを確認したらすぐに清掃する。 ③通りがかった際や、適宜様子確認を職員が行う。
生活介護棟	①自動ドアへの衝突 ②電動車イスの誤操作による物損・人身事故 ③利用者同士のすれ違い時の衝突事故	①前で必ず一時停止するよう声掛け ②操作困難な所では手動に切り替えてもらう。導線付近の物は移動させる ③無理に狭い所を通ろうとしている利用者には声掛けし、移動してもらおう。
多目的棟	①出入り管理 ②使用状況管理 ③利用者同士のすれ違い時の衝突事故	①利用時は職員同行 ②開閉の確認 ③無理に狭い所を通ろうとしている利用者には声掛けし、移動してもらおう。
園庭	①排水口の蓋に車椅子前輪がはまる。 ②ホース及び蛇口につまづく。 ③テニスコートへのスロープ ④車椅子が花壇に入ってしまう。 ⑤出入り業者、来客者の車。 ⑥生活介護棟への通路。	①排水口蓋形状の変更。 ②ホースの片付け及び蓋をする。 ③単独で移動する場合の注意の呼びかけ。下りる前に周囲を確認する。 ④花壇に柵を整備 ⑤業者・来客者へのお願い・駐車位置の制限。 ⑥行き交いに注意し、追い越し等は危険なため禁止する。電動車イスが低速になっているかチェックする。通路の端に寄りすぎないように声掛ける。上り坂が自力移動困難な利用者は介助する。
園外	①歩道、側溝の蓋が無い。 ②外出時、左右確認の見落とし。 ③ワゴン車のリフターからの転落。	①行政へ要請。 ②交差点や横断歩道では、本人・職員ともに左右の確認を行う。 ③乗車時、しっかり車イスの固定を行い、リフター昇降時は車イスも押さえ、安全確認をする。
その他	①ゴミ収集所に危険物がある。 ②洗濯場に薬剤・加熱機がある。 ③単独外出転倒 ④施設外へ出る	①塗装材料の変更又は床材の再検討。 ②危険物の取り扱いに注意し、分別・蓋付きポリバケツに廃棄する。 ③単独外出のリスクの自覚 ④職員利用者の不穩把握(自動ドア開閉時間厳守)

II 看護健康課

〈看護係〉

(1) 診療状況

区分	内容
嘱託医個別診療	第2・第4月曜日
専門医受診	4週毎 随時
専門医個別診療	月1回
訪問歯科	毎週1回

(2) 日常業務

摘便	随時
浣腸	随時
インフルエンザ予防接種	年1回
新型コロナワクチン接種	随時
褥瘡処置	毎日
膀胱瘻造設創部消毒	随時2人
機能維持訓練	医師の指示による。
血圧測定	全員 随時
脈拍測定	全員 随時
体温測定	全員 2回/日 毎日
経管栄養	1日2～3食 3人
体重測定	月1回 全員
血糖検査	医師の指示による。
排泄状況管理	毎日 全員
健康診断	年2回
点滴	医師の指示による。
皮膚処置	毎日
定期薬処方依頼	4週間毎
回診支援	月2回
入院者様子伺い	随時
受診支援	随時

(3)園内診療状況

科	人数
内科	1138
精神科	278
外科	0
歯科	341
合計	1757

(4)園内外処方状況

区分	件数
定期処方	659
臨時処方	90
合計	749

(5)園外通院・入院状況

区分	実人数		延べ診療日数	
	入院	通院	入院	通院
内科	7	41	288	41
外科	1	18	2	18
形成外科	0	10	0	10
整形	0	31	0	31
精神	0	16	0	16
皮膚科	0	20	0	20
眼科	0	14	0	14
耳鼻科	1	18	77	18
泌尿器科	0	15	0	15
呼吸器	0	0	0	0
歯科	0	22	0	22
脳外科	0	2	0	2
産婦人科	0	3	0	3
乳腺外科	0	1	0	1
手外科	0	44	0	44
合計	9	255	367	255

(6)診断書類提出状況

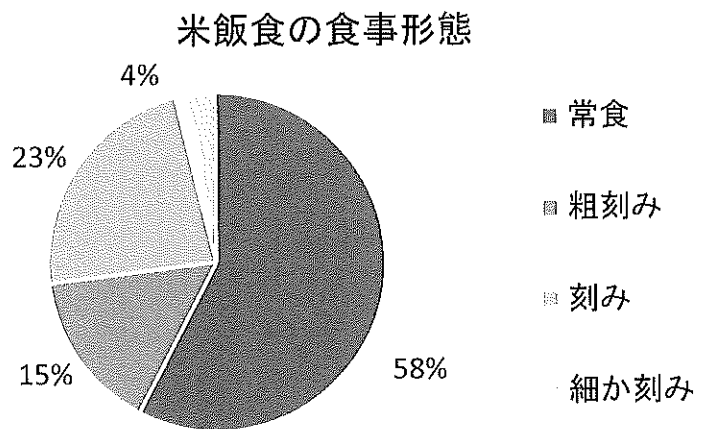
障害者年金受給者年金届	2
車椅子判定医学的意見書	0
後遺障害証明書	0
生命保険会社診断書	0
特定疾患診断書	2
在宅福祉サービス総合診断書	0
労災診断書	0
自立支援診断書	3
成年後見診断書	1
合計	8

令和4年度

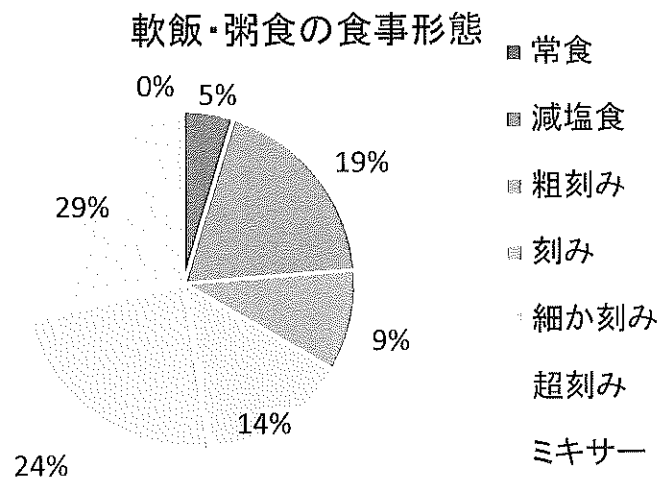
<給食係>

(1) 食事形態状況

		人数
米飯食	常食	15
	粗刻み	4
	刻み	6
	細か刻み	1

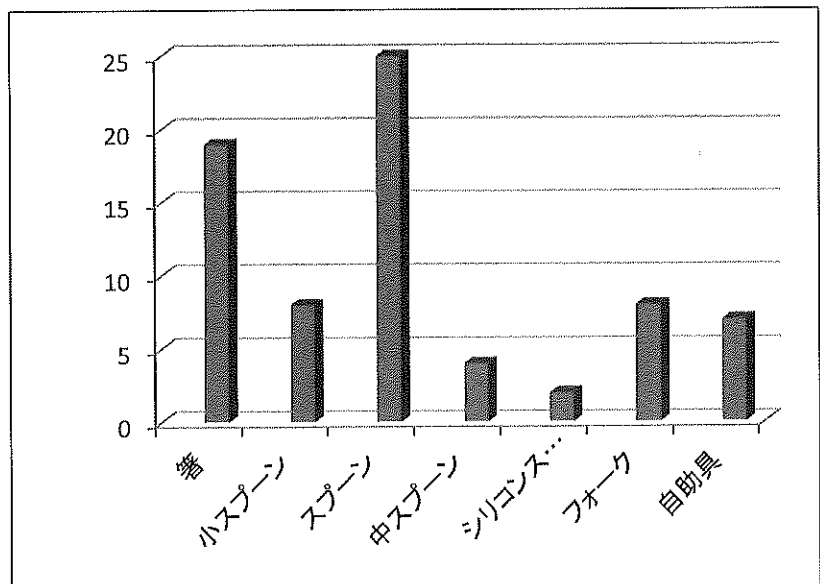


		人数
軟飯・粥食	常食	0
	減塩食	1
	粗刻み	4
	刻み	2
	細か刻み	3
	超刻み	5
	ミキサー	6



(2) 使用具状況 (併用含む)

使用具	人数
箸	19
小スプーン	8
スプーン	25
中スプーン	4
シリコンスプーン	2
フォーク	8
自助具	7



(3) 令和4年度 年間食事数

	入所	通所	短期	合計/月	朝	昼	夕
4月	3778	49	51	3977	1303	1397	1277
5月	3988	39	38	4165	1373	1448	1344
6月	3850	45	44	4042	1331	1411	1300
7月	3926	48	8	4076	1343	1421	1312
8月	3961	71	2	4137	1352	1465	1320
9月	3863	66	19	4045	1323	1426	1296
10月	4001	71	12	4178	1361	1479	1338
11月	3934	82	15	4100	1334	1448	1318
12月	4103	89	16	4275	1388	1516	1371
1月	4108	78	12	4264	1388	1506	1370
2月	3715	78	36	3886	1253	1387	1246
3月	4219	91	31	4341	1418	1577	1410
合計/年	47446	807	284	49486	16167	17481	15902

(4) 令和4年度 栄養給与状況

月	熱量	蛋白質	脂質	糖質	Ca	鉄分	VA	VB1	VB2	VC	塩分
単位	kcal	g	g	g	mg	mg	ug	mg	mg	mg	g
4	1,638	62.6	44.7	242.3	631	10.0	1,074.0	1.65	1.31	106	7.2
5	1,627	61.6	44.5	241.9	613	9.8	787.0	1.55	1.26	98	7.1
6	1,652	63.2	45.8	241.1	627	11.0	1,124.0	1.65	1.30	117	7.2
7	1,645	62.7	45.2	240.3	614	10.1	1,002.0	1.59	1.23	105	7.2
8	1,641	63.9	45.0	239.7	615	10.4	950.0	1.57	1.29	101	7.2
9	1,655	61.4	46.9	239.9	593	10.6	1,042.0	1.54	1.29	107	7.2
10	1,643	61.3	46.6	237.9	610	10.0	751.0	1.66	1.25	103	7.2
11	1,647	63.5	45.8	239.4	597	10.5	1,005.0	1.64	1.30	103	7.1
12	1,651	60.9	46.9	239.5	587	10.6	1,007.0	1.67	1.25	106	7.2
1	1,662	63.3	45.2	243.3	597	10.3	1,007.0	1.60	1.25	107	7.1
2	1,654	63.1	46.4	240.4	655	10.5	1,091.0	1.61	1.29	106	7.1
3	1,665	62.5	47.2	239.7	639	10.3	757.0	1.57	1.26	102	6.9
合計	19,780	750.0	49.0	2,885	7,378	124.1	11,597.0	19.3	15.3	1,261	85.7
目標	1,600	57.0	49.0	290.0	680	8.0	790.0	1.2	1.4	100	7.5
食事摂取基準	1,939	56.9	49.5	314.9	698	8.0	790.6	1.2	1.4	97.9	6.9
平均	1,648.3	62.5	45.9	240.5	614.8	10.3	966.4	1.6	1.3	105.1	7.1

(5) 令和4年度 行事食実施状況

月	行事	食事内容
4	お花見会	桜海老とそら豆のかき揚げうどん・菜の花辛子和え・抹茶ロールケーキ
5	端午の節句	鮭ちらし寿司・ウドとほうれん草の酢味噌和え・クリームソーダ風ゼリー
6	運動会	ツナマヨサンドイッチ・鶏肉の唐揚げ・コールスローサラダ・チョコレートムース
7	七夕	五色かざりそうめん・海老と夏野菜の天ぷら・七夕デザートゼリー
	土用の丑	鰻のばら寿司・オクラと蒸鶏の梅和え・ミニエクレア
8	お盆	ぼたもち(小豆・きな粉)・茄子と鶏肉の炊き合わせ・ほうれん草の白和え・スイカ
9	お彼岸	おはぎ(小豆・きな粉)・筑前煮・小松菜の山葵和え・巨峰
	十五夜	月見そば・さつま芋とレーズンのサラダ・こし餡まんじゅう
10	熊谷祭り・開園記念日	お好み焼き・牛肉とインゲンの辛子炒め・白菜の生姜和え・クリーミープリン
	ハロウィン	チキンライス玉子添え・きのこソテー・シーザーサラダ・パンプキンパバロア
11	防災	おにぎり(生姜昆布&鮭)・野沢菜漬け・具だくさん豚汁・バニラアイス風デザート
12	クリスマス会	ボンゴレピアンコ風スープスパゲティ・ミモザサラダ・シャンメリー・チョコレートケーキ
	冬至	米飯・鶏肉と大根の煮物・南瓜のいとこ煮・青菜の胡麻辛子和え・みかん
	クリスマス	米飯・フライドチキン・スパゲティソテー・コールスローサラダ・クリスマスカップデザート(苺プリン)
	大晦日	桜海老入りかき揚げそば・温泉玉子・胡瓜の香味醤油和え・みかん
1	お正月	1日昼食：赤飯・おせち料理・白菜の数の子入り松前和え・芽株佃煮・花麩入り清汁
		2日昼食：御飯・おせち料理・里芋の煮物・あみ佃煮・きのこ汁
		3日夕食：御飯・鯖の塩麹漬焼き・ふろふき大根・薄切り沢庵・栗水ようかん
	七草	七草粥・豆腐と青菜の卵とじ・生姜昆布煮・シリアンベリー
新年会	煮穴子のせバラ寿司・かぶの海老あんかけ・清汁(生麩梅・三つ葉)・ダブルシュークリーム	
2	節分	恵方巻・菜の花と鰯の梅煮・いんげんのピーナツ和え・節分たまごボーロ
	バレンタイン	デザート：ドームケーキチョコ
	文殊寺縁日	お好み焼き・青菜と鶏肉の辛し和え・ラムネジュース
3	ひな祭り	鮭と海老のちらし寿司・甘酢生姜・若竹煮・桜餅風デザートゼリー
	ホワイトデー	デザート：モンブランケーキ
	お彼岸	ぼたもち(きなこ・黒ゴマ小豆)・春の炊き合わせ・菜の花とツナの和え物・苺
その他		誕生日食(利用者の誕生日)

(6) 令和4年度 選択食実施状況

実施日	選択食		
	A	B	C
4/19	あんぱん	クリームパン	カレーパン
4/25	サーモンステーキバジル	チキンステーキバジル	
5/26	あんぱん	コーヒーサンドモカ	カレーパン
5/31	マヨタマサラダロールフライ	カレーロールフライ	
6/24	あんぱん	ホットケーキ	カレーパン
6/28	海老フライ	メンチカツ	
7/25	レモンペッパーサーモンソテー	レモンペッパーチキンソテー	
7/29	あんぱん	メロンパン	カレーパン
8/25	あんぱん	マロン&マロン	カレーパン
8/30	とろたまハムカツ	海老カツ	
9/23	あんぱん	ランチパックピーナツクリーム	カレーパン
9/26	ガリパタサーモン	ガリパタチキン	
10/18	あんぱん	シュガーロール	カレーパン
10/24	鮭のキノコあんかけ	鶏肉のキノコあんかけ	
11/24	あんぱん	バナナクリームサンド	カレーパン
11/29	鯖の竜田揚げ	鶏肉の竜田揚げ	
12/13	あんぱん	コッパパンピーナツクリーム	カレーパン
12/19	鮭の粒マスタード焼き	鶏肉の粒マスタード焼き	
1/17	あんぱん	チョコクリームコロネ	カレーパン
1/26	カレイのピカタ	鶏肉のピカタ	
2/16	コッパパン(つぶあん&マーガリン)	ホットケーキサンドメープル	カレーパン
2/20	メンチカツ	海老フライ	
3/15	あんぱん	黒糖蒸しパン	カレーパン
3/25	鮭の香草焼き	鶏肉の香草焼き	

(7) 令和4年度 誕生食

4月	あまおう苺チョコパイ・パーコー麺・栗まんじゅう・納豆巻き・チョコロールケーキ・かつ丼
5月	黒胡麻まんじゅう・油淋鶏・ミニシュークリーム・かき揚げ丼
6月	チョコロールケーキ・カレーライス・プリンアラモード・冷やし中華
7月	醤油チャーシューラーメン・南瓜ババロア・鶏肉の唐揚げ
8月	茄子入りミネストローネ・夏の香りちらし寿司・ミニカットストロベリーケーキ・鮭のムニエルタルソース NYストロベリーカップケーキ・チョコロールケーキ・かつ丼・バウムクーヘン・抹茶パンケーキ
9月	カツカレー・海老天冷やしそうめん・かつ丼・チョコババロア・かき揚げ丼
10月	カツカレー
11月	栗水ようかん・粗挽きビーフメンチカツ&トマト
12月	抹茶ロールケーキ・デミグラスソースハンバーグ・ティラミスカップケーキ
1月	ミニストロベリーケーキ・チョコがけドーナツ・あんぱん・牛そばろ丼・和風ハンバーグ
2月	いなり寿司と巻寿司・プリンアラモード・苺のロールケーキ・苺カスタードタルト
3月	プリン・利休まんじゅう・黒糖蒸しパン

*利用者の誕生日当日又は近い日に本人が喫食したいものを担当と相談し決め献立に取り入れ
利用者全員で喫食する。

令和4年度 1回目 6月 嗜好調査

1 調査目的

利用者様の嗜好や現在の食事に対する不満などの状況を把握し、献立作成・調理方法・食事提供方法を見直し、食事に対する利用者様の満足度を向上させることを目的としております。

2 調査方法

(1) 実施日: 令和4年6月1日(水)～6月30日(木)

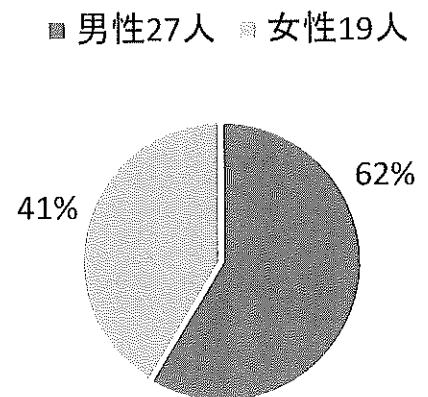
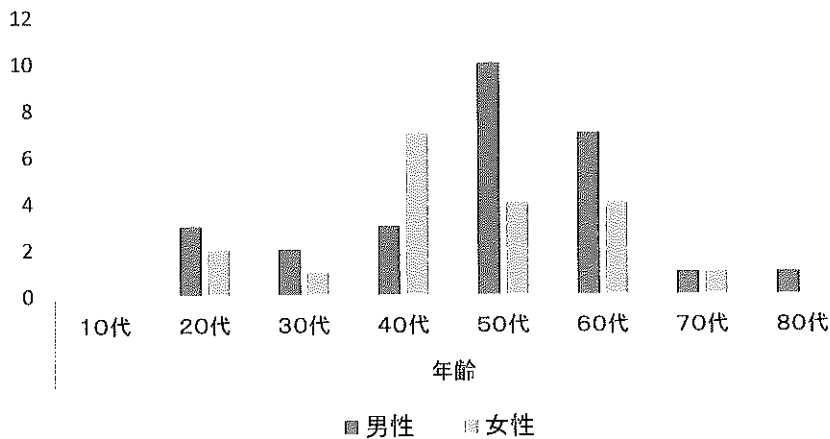
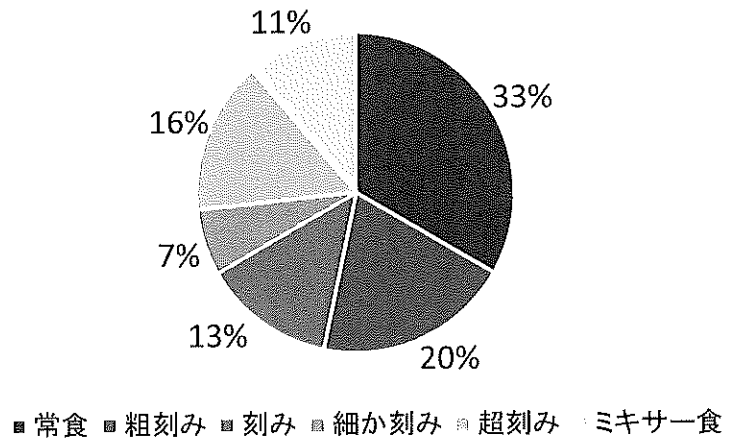
(2) 対象者:

	人数(名)
入所者・通所の利用者	51
経管栄養	5
入院中	0
意思疎通困難・会話困難により回答不可	10
有効回答数	36
有効回答率	78.2%

(3) 方法: 聞き取り調査

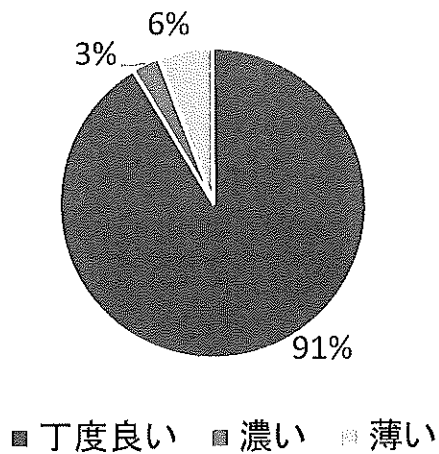
【回答者内訳】

食種	人数(名)
常食	15
粗刻み	9
刻み	6
細か刻み	3
超刻み	7
ミキサ一食	5



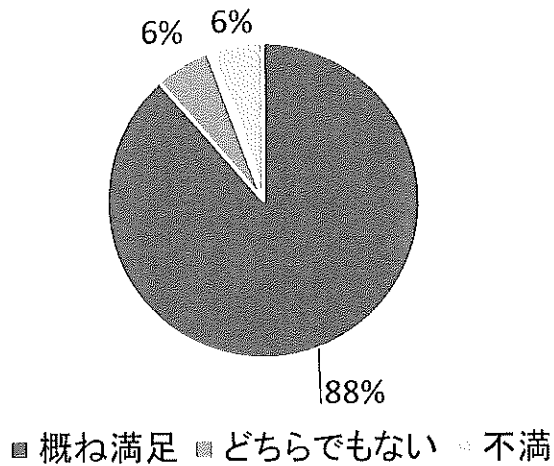
3 回答結果

① 食事の味付けについて



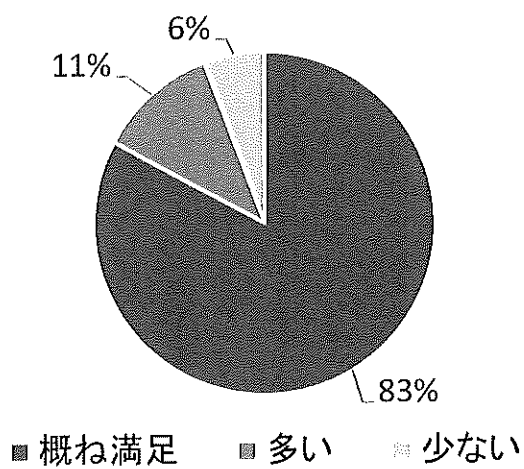
		人数(名)
A	丁度良い	32
B	濃い	1
C	薄い	2
その他	その時による	0

② 食事の温かさについて



		人数(名)
A	概ね満足	31
B	どちらでもない	2
C	不満	2
その他	その時による	0

③ 食事の量について



		人数(名)
A	概ね満足	29
B	多い	4
C	少ない	2

④その他、ご意見、ご要望

- ・汁物が蓋付で温かく飲めて良い
- ・日曜の朝メニューが「バナナ&ジョア」でパターン化している
- ・物によって硬く感じることもある
- ・色々なメニューが出て良い
- ・味噌汁が熱すぎる

【リクエストメニュー】

おまんじゅう・アイス・ミニトマト・パン・鮭・ブロッコリー・ハンバーグ・茄子油味噌・苺ムース
かつ丼・シフォンケーキ・お好み焼き・あんかけソース焼きそば・穴子寿司・チョコムース
ゴーヤの佃煮・棒棒鶏・かき揚げそば・たぬきうどん・鮭フレーク・鶏レバー甘辛煮・金時豆煮

4 まとめ

- ① 副食の味付けについては「概ね満足」との回答が91%と高い評価を得られました。
食材価格上昇のため、魚の切り身や冷凍食品など低価格帯の商品へと順次切替をし、味付けや調理方法を工夫してまいりました。また今年度の食事摂取基準に基づき、塩分量を減らした献立内容を作成しておりましたが、概ね高い満足度を得られました。
今後も食材費を考慮しながらも、質は落とさず、少量の塩分でも美味しく満足できるような食事提供を目指してまいります。
- ② 食事の温かさについては「概ね満足」との回答が88%と高い評価を得ることができました。
回答内容から汁物が蓋付で温かい温度を保った状態で提供できていることが、高い満足度を得ている一因のようです。
今後もより多くの利用者様が満足して頂けるよう厨房職員とも連携し、適時適温の食事提供を目指してまいります。
- ③ 食事の量については、「概ね満足」の回答が83%と前年度の回答より満足されている利用者様が増える結果となりました。
日中活動量が少なくなっているため、食欲がなかなか湧かないことがあるかと思いますが、今後も食事量などは摂取量を確認しつつ、個別に対応してまいります。

今回の嗜好調査では全体的に満足度の高い結果となりましたが、メニューのパターン化のご指摘がありましたので、献立内容の改善に努めてまいります。今後も利用者様の満足度の向上のため、リクエストメニューや選択メニューの充実を図ってまいります。

利用者様から頂いた貴重なご意見を参考に、今後もより安全で美味しい食事の提供ができるよう努めてまいります。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

令和4年8月

給食衛生委員会

令和4年度 2回目 12月 嗜好調査

1 調査目的

利用者様から食事に関する意見を伺い、献立内容や調理方法の見直しを行うことで、給食業務の改善とより満足度の高い食事を提供することを目的としています。

2 調査方法

(1) 実施日： 令和4年12月1日(木)～12月28日(水)

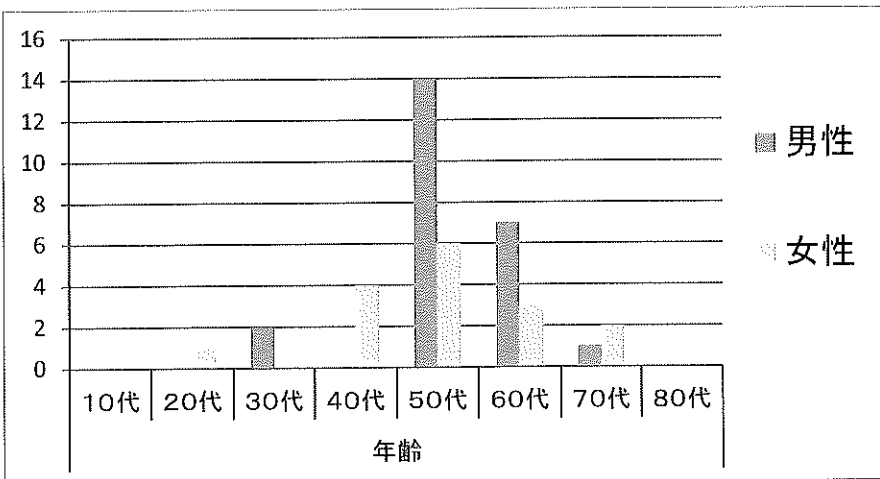
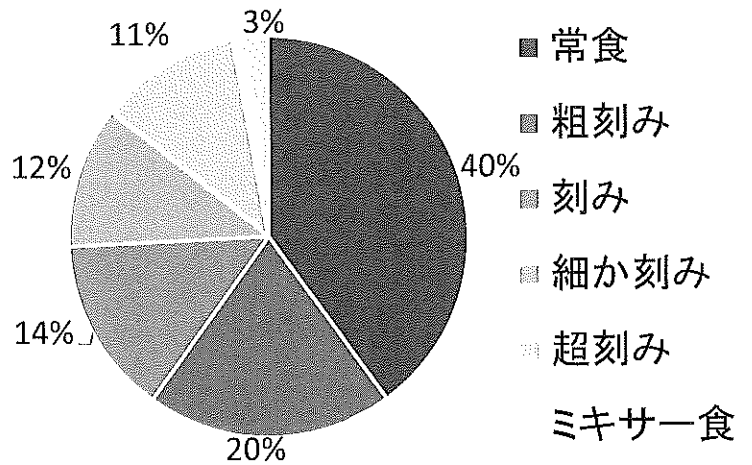
(2) 対象者：

	人数(名)
入所者・通所の利用者	55
経管栄養	5
入院中	2
意思疎通困難・会話困難により 回答不可	10
有効回答数	40
有効回答率	80.0%

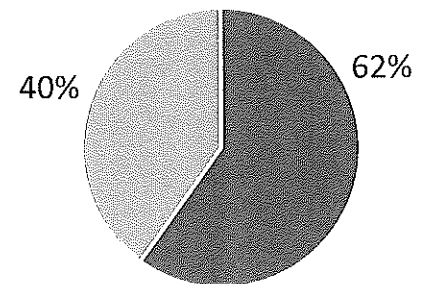
(3) 方法： 聞き取り調査

【回答者内訳】

食種	人数(名)
常食	14
粗刻み	7
刻み	5
細か刻み	4
超刻み	4
ミキサー食	1

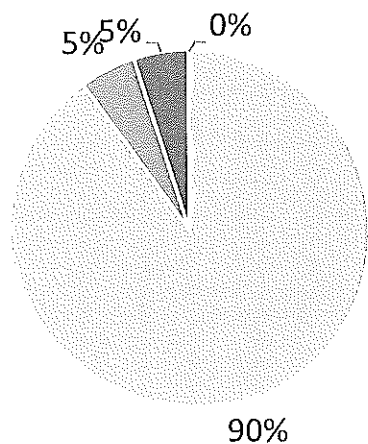


■ 男性24名 ■ 女性16名



3 回答結果

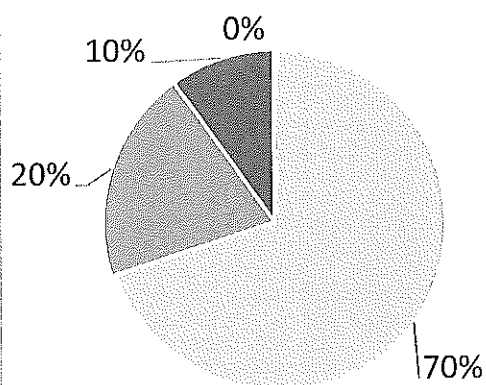
① 食事の味付けについて



- 概ね満足
- どちらでもない
- 不満
- その他

		人数 (名)
A	概ね満足	36
B	どちらでもない	2
C	不満	2
D	その他	0

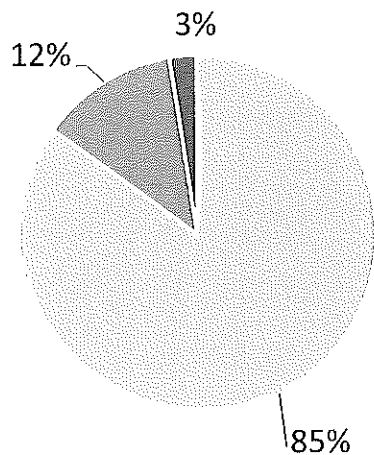
② 副食の硬さについて



- 概ね満足
- どちらでもない
- 不満
- その他

		人数 (名)
A	概ね満足	28
B	どちらでもない	8
C	不満	4
D	その他	0

③ 食事の量について



- 概ね満足
- どちらでもない
- 不満

		人数 (名)
A	概ね満足	34
B	どちらでもない	5
C	不満	1

④ その他の意見

- ・麺メニューの提供頻度を増やしてほしい
- ・おかずの量を増やしてほしい
- ・グラタンが美味しかったのでまた出してほしい
- ・食事のバランスがよく美味しい
- ・食事の温かさが丁度よい
- ・リクエストしたメニューが反映されてうれしい。満足している。
- ・うどん、そばの提供時に七味唐辛子をもう少し入れてほしい
- ・家の昼食ではパンとコーヒーだけなので、食事の量が多すぎる（通所利用者様）

【献立に取り入れてほしいメニュー】

モンブランケーキ・マカロニグラタン・ビーフカツカレー・エクレア・ミートスパゲティー・お好み焼き
ほうとう風煮込みうどん・チョコクリームブッセ・天井・ビビンバ風丼・ドリア・たこ焼き・おしる粉
かつ丼・カツカレー・揚げ出し豆腐・十万石まんじゅう・納豆巻き&いなり寿司・甘酒
ドームケーキチョコ・ナポリタン大盛・コッパンあん&マーガリン・ホットケーキバナナアイス添え

4 まとめ

①「食事の味付けについて」の質問では、90%の利用者様から「概ね満足」との回答が得られました。前回の調査時から継続して高評価を得られていますが、栄養摂取基準の塩分量は年々、厳しく低下しておりますので、薄い味付けでも満足していただけるよう調理方法の改善や味付けの見直しを実施してまいります。また「味付けにムラがある」とのご意見もありましたので、厨房職員と連携し味付けの統一化に努めてまいります。

②「おかずの硬さについて」は、「概ね満足」と「どちらでもない」を合わせた回答が90%、「不満」との回答は10%の結果となりました。不満の理由としては「肉と魚が硬い、パサつく」との回答が多くありました。年々、咀嚼力低下や義歯を使用せず食事を摂取される方が増加傾向にありますので、引き続き調理方法と使用食材の検討をしてまいります。

③「食事の量について」は、「概ね満足」と「どちらでもない」を合わせた回答が97%の結果となりました。食事量が少ないとの回答があった利用者様に対してはエネルギー量の調整を検討し、今後も個々の体重変化を把握し、日中の活動量に見合った食事量へ調整することで利用者様の食事量に対する満足度の維持を図ってまいります。

今回の嗜好調査でいただいた利用者様のご意見を参考に日々の給食業務の改善と、より満足度の高い食事を提供できるよう努めてまいります。

嗜好調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

令和5年1月 給食衛生委員会

Ⅲ 総務課

(1)職員配置状況

職 種	常勤換算	常勤職員数	非常勤職員数 (常勤換算数)	指定基準
園 長	1	1	0	1
事 務 長	0	0	0	-
事 務 員	3	3	0	-
サービス管理責任者	1.2	2	0	1.2
生活支援員	36.2	27	14 (9.2)	36.4
看 護 師	2	2	1	1
管理栄養士	1	1	0	-
理学療法士	0.1	0	1	-
医 師	0.1	0	2	1

(2)職員資格保有状況

資 格 名	人数(実数)
社会福祉施設長認定資格	1
社会福祉士	2
介護福祉士	20
介護支援専門員(ケアマネージャー)	1
社会福祉主事任用資格	7
ホームヘルパー1級	1
ホームヘルパー2級	9
ホームヘルパー3級	1
正看護師	1
准看護師	2
管理栄養士	1
栄養士	1
サービス管理責任者研修修了	4
安全衛生推進者養成講習	1

(3)業務委託費

月	内容	月額	3年度	4年度	差引額	備考
毎月	税理士事務所	50,117	601,404	601,404	0	
毎月	厨房業務委託		21,812,340	21,812,340	0	
毎月	寝具		1,839,407	1,678,176	△ 161,231	R3.6より職員用の布団を解約したため減少
毎月	PT派遣		1,410,000	1,830,000	420,000	3年度3ヶ月中止
毎月	嘱託医派遣	230,000	2,760,000	2,760,000	0	
毎月	若菜(お弁当)		8,640	9,460	820	
毎月	アルソック警備システム(生活棟)	13,200	145,200	171,600	26,400	R3.11分を4年度に支払
毎月	アルソック警備システム(入所棟)	11,000	121,000	143,000	22,000	R3.11分を4年度に支払
毎月	サーヴ(連絡システム利用料)	3,300	39,600	39,600	0	
不定期	渡辺行政書士事務所	16,500/1回	66,000	66,000	0	
年2回	館内床・ガラス清掃	253,000/1回	506,000	506,000	0	
年2回	床清掃(共有部)	68,040/1回	69,300	69,300	0	
年2回	消防設備点検	129,600/1回	335,500	335,500	0	
年2回	害虫駆除	66,000/1回	132,000	132,000	0	
年1回	受水槽清掃	64,800/1回	66,000	66,000	0	
年1回	浄化槽清掃(介護棟)	43,560/1回	43,560		△ 43,560	保守料へ
年1回	浄化槽水質検査	10,000/1回	10,000	10,000	0	
年1回	簡易専用水道検査	18,468/1回	18,810	18,810	0	
年1回	浴室水質検査(レジオネラ菌)	25,920/1回	26,400	26,400	0	
年1回	建物定期検査		83,090	116,190	33,100	
年1回	排水管高圧清掃		165,000	165,000	0	
2年1回	重油タンク清掃		0	77,000	77,000	
不定期	非常用自家発電設備設計管理業務費		110,000	0	△ 110,000	
合計			30,369,251	30,633,780	264,529	

(4)保守料状況

月	内容	月額	3年度	4年度	差引額	備考
毎月	自動ドア保守点検	15,576	186,912	186,912	0	
毎月	EV点検	49,500	594,000	594,000	0	
毎月	電気設備点検	17,738	192,720	212,856	20,136	4年度月額1,678円増額
毎月	電話機保守	2,640	31,680	31,680	0	
毎月	複合機保守		81,775	82,682	907	
毎月	セキュリティー機器保守	3,300	39,600	39,600	0	
毎月	生活棟カーテン保守	4,950	59,400	59,400	0	
年1回	浄化槽維持管理業務		31,680	75,240	43,560	
年1回	温水ボイラー保守		132,000	132,000	0	
年1回	会計システム保守		66,000	66,000	0	
年1回	食器洗浄機保守		47,520	47,520	0	
年1回	冷凍冷蔵庫保守		31,680	31,680	0	
年1回	冷凍庫保守		26,400	26,400	0	
年1回	消毒保管庫保守		68,640	36,960	△ 31,680	1つ減少
5年1回	サーヴウイルスソフト		0	0	0	
合計			1,590,007	1,622,930	32,923	

(5)賃借状況

① 事務費

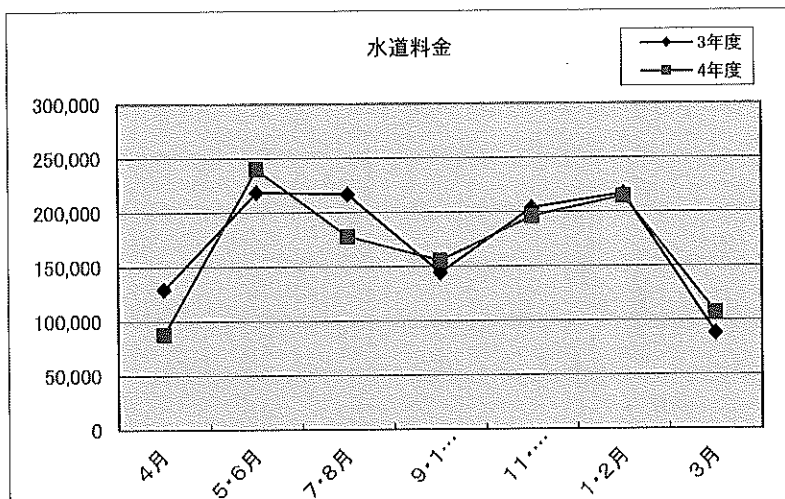
月	物件名	月額	3年度	4年度	差引額	備考
毎月	玄関マット及びびモップ	10,450	118,158	123,798	5,640	R4.7より一部商品変更
毎月	ESシステム故障監視装置	23,328	279,936	303,264	23,328	4年度調整のため13カ月分支払計上
毎月	公用車(普通車)	21,060	85,250	0	△ 85,250	R3.8リース終了
毎月	電話機リース	34,100	409,200	409,200	0	
毎月	複合機・セキュリティー機器	60,500	726,000	726,000	0	
毎月	給食システム	8,800	96,800	105,600	8,800	R3.8より契約変更
毎月	財務会計システム	12,100	101,200	145,200	44,000	R3.8より契約変更
毎月	給与計算システム	7,700	70,400	92,400	22,000	R3.8より契約変更
毎月	マイナンバーシステム	3,300	39,600	39,600	0	
毎月	請求管理システム		14,368		△ 14,368	R3.4契約終了
年1回	玄関マット及びびモップ		39,270	39,270	0	
年1回	看板設置借地料	40,000	40,000	40,000	0	
合計			2,020,182	2,024,332	4,150	

② 事業費

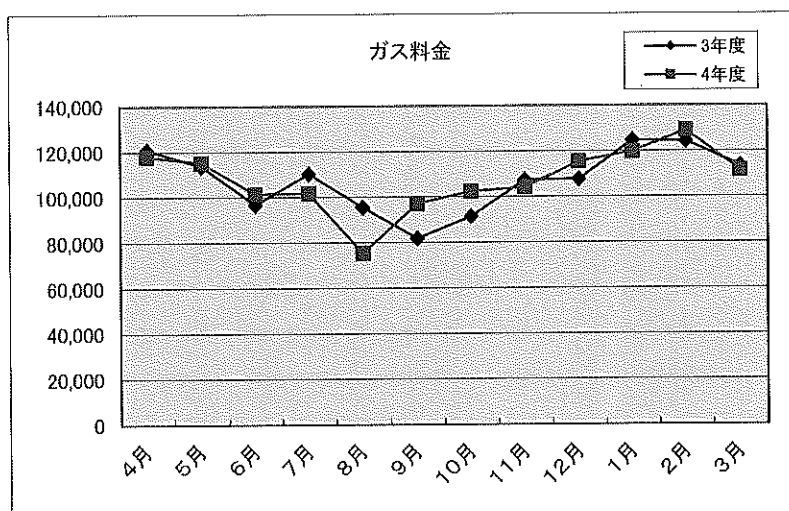
月	物件名	月額	3年度	4年度	差引額	備考
毎月	プライベートカーテン(入所棟)	30,800	369,600	369,600	0	
合計			369,600	369,600	0	

(6)水道光熱費

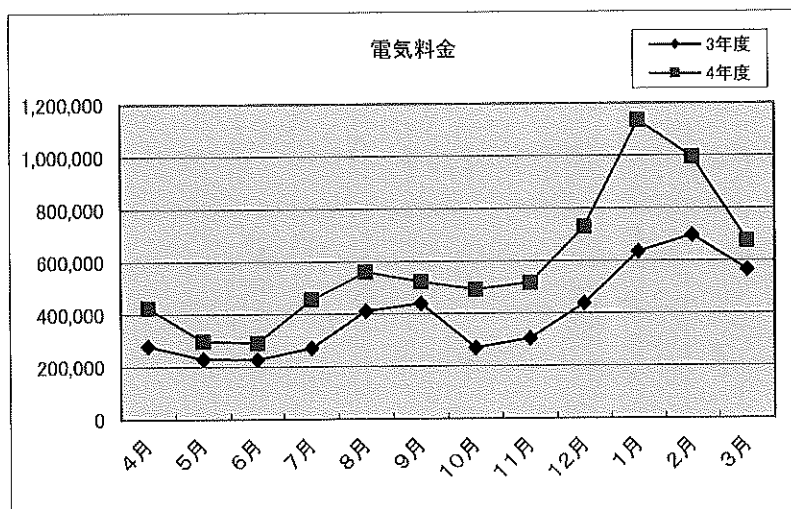
水道料金			
月	3年度	4年度	差引額
4月	129,310	88,072	△ 41,238
5・6月	218,647	240,152	21,505
7・8月	216,623	177,947	△ 38,676
9・10月	144,265	155,430	11,165
11・12月	203,720	195,910	△ 7,810
1・2月	216,876	214,346	△ 2,530
3月	88,071	107,173	19,102
合計	1,217,512	1,179,030	△ 38,482
平均	173,930	168,433	△ 5,497



ガス料金			
月	3年度	4年度	差引額
4月	120,943	118,021	△ 2,922
5月	113,719	115,262	1,543
6月	96,731	101,450	4,719
7月	110,362	101,704	△ 8,658
8月	95,533	75,495	△ 20,038
9月	81,903	97,112	15,209
10月	91,467	102,430	10,963
11月	107,403	104,191	△ 3,212
12月	107,730	115,371	7,641
1月	124,754	119,745	△ 5,009
2月	124,265	129,238	4,973
3月	113,574	111,686	△ 1,888
合計	1,288,384	1,291,705	3,321
平均	107,365	107,642	277



電気料金			
月	3年度	4年度	差引額
4月	279,246	426,081	146,835
5月	228,533	297,808	69,275
6月	228,394	291,396	63,002
7月	271,193	456,852	185,659
8月	411,591	559,970	148,379
9月	438,775	522,901	84,126
10月	268,906	493,757	224,851
11月	304,757	517,883	213,126
12月	438,625	730,732	292,107
1月	634,668	1,136,184	501,516
2月	697,368	995,982	298,614
3月	565,692	676,175	110,483
合計	4,767,748	7,105,721	2,337,973
平均	397,312	592,143	194,831



《電気使用最大値》

使用最大値			
月	3年度	4年度	差引値
4月	41	57	16
5月	34	32	△ 2
6月	30	30	0
7月	36	73	37
8月	61	79	18
9月	82	62	△ 20
10月	47	50	3
11月	38	32	△ 6
12月	59	56	△ 3
1月	72	66	△ 6
2月	72	70	△ 2
3月	69	67	△ 2
最大値	82	79	△ 3

《電気使用量》

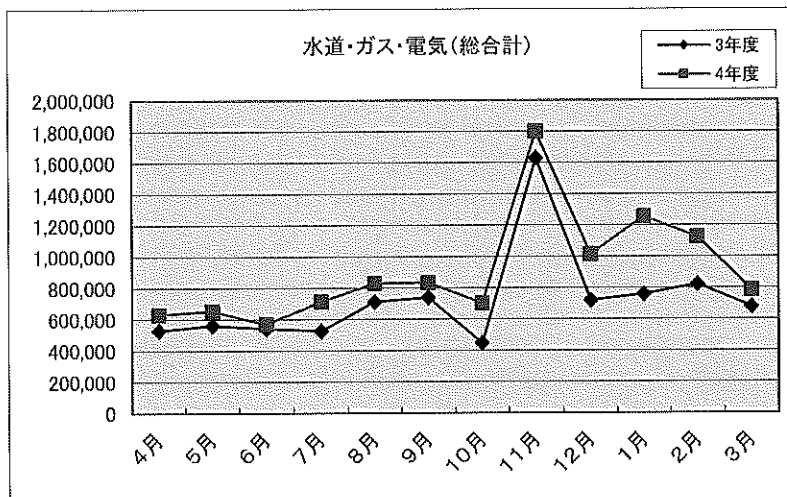
(単位:Kw)

使用量			
月	3年度	4年度	差引値
4月	15,055	16,662	1,607
5月	10,864	10,567	△ 297
6月	10,618	10,280	△ 338
7月	12,444	15,830	3,386
8月	19,252	18,921	△ 331
9月	18,478	16,362	△ 2,116
10月	11,624	11,735	111
11月	13,171	11,812	△ 1,359
12月	19,619	17,188	△ 2,431
1月	28,963	28,833	△ 130
2月	30,542	27,494	△ 3,048
3月	16,129	19,472	3,343
合計	206,759	205,156	△ 1,603

水道・ガス・電気(総合計)

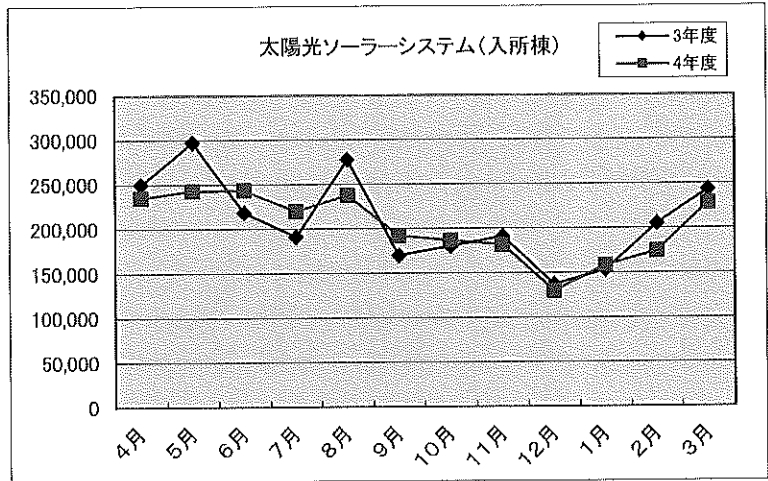
月	3年度	4年度	差引額
4月	529,499	632,174	102,675
5月	560,899	653,222	92,323
6月	541,748	570,793	29,045
7月	525,820	713,986	188,166
8月	710,844	831,375	120,531
9月	737,554	834,359	96,805
10月	448,444	703,360	254,916
11月	1,629,672	1,801,104	171,432
12月	720,285	1,014,536	294,251
1月	759,422	1,255,929	496,507
2月	821,633	1,125,220	303,587
3月	679,266	787,861	108,595
合計	6,056,132	8,397,426	2,341,294
平均	504,678	699,786	195,108

水道・ガス・電気(総合計)

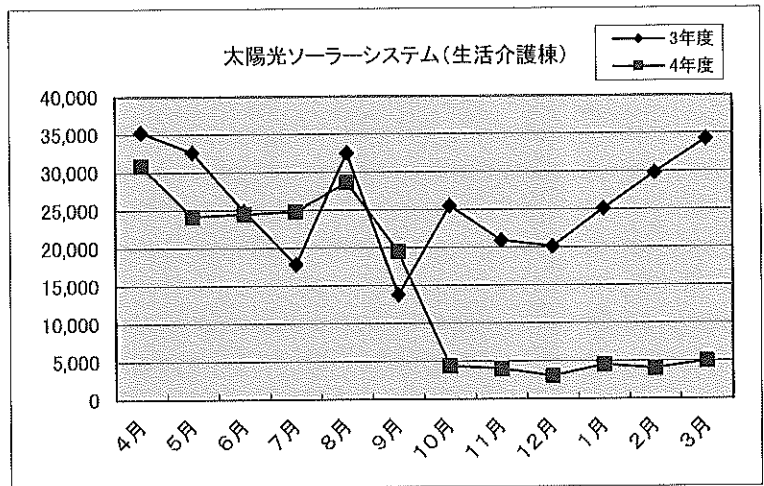


(7) 太陽光ソーラーシステム売電

太陽光ソーラーシステム(入所棟)			
月	3年度	4年度	差引額
4月	249,788	235,224	△ 14,564
5月	297,220	243,188	△ 54,032
6月	218,504	243,716	25,212
7月	190,916	220,044	29,128
8月	277,684	237,468	△ 40,216
9月	169,840	192,280	22,440
10月	180,136	186,604	6,468
11月	190,960	181,544	△ 9,416
12月	137,324	129,844	△ 7,480
1月	153,384	158,268	4,884
2月	205,304	174,636	△ 30,668
3月	243,232	228,668	△ 14,564
合計	2,514,292	2,431,484	△ 82,808
平均	209,524	202,624	△ 6,901

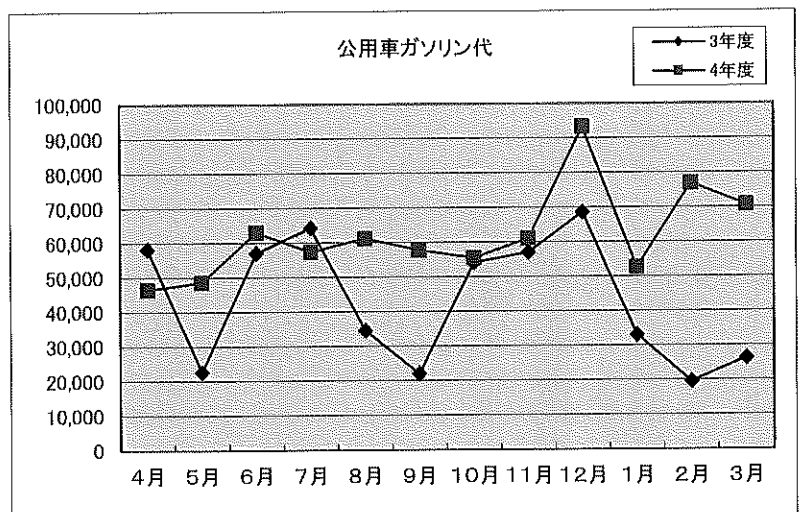


太陽光ソーラーシステム(生活介護棟)			
月	3年度	4年度	差引額
4月	35,280	30,870	△ 4,410
5月	32,634	24,192	△ 8,442
6月	24,864	24,486	△ 378
7月	17,850	24,822	6,972
8月	32,508	28,644	△ 3,864
9月	13,818	19,530	5,712
10月	25,494	4,403	△ 21,091
11月	20,916	3,986	△ 16,930
12月	20,118	3,034	△ 17,084
1月	25,116	4,496	△ 20,620
2月	29,820	3,986	△ 25,834
3月	34,272	4,989	△ 29,283
合計	312,690	177,438	△ 135,252
平均	26,058	14,787	△ 11,271

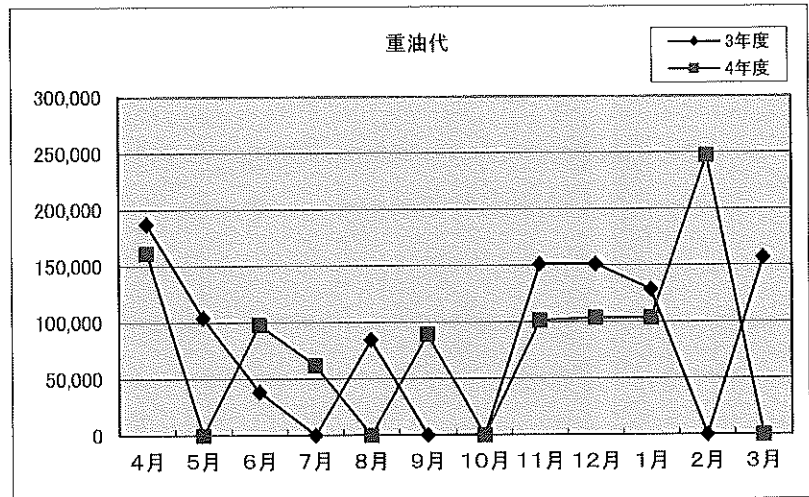


(8) 燃料費

燃料(公用車ガソリン代)			
月	3年度	4年度	差引額
4月	58,104	46,503	△ 11,601
5月	22,592	48,609	26,017
6月	57,037	63,093	6,056
7月	64,252	57,290	△ 6,962
8月	34,492	61,184	26,692
9月	22,001	57,810	35,809
10月	54,041	55,494	1,453
11月	57,004	61,088	4,084
12月	68,661	93,393	24,732
1月	33,039	52,671	19,632
2月	19,592	76,949	57,357
3月	26,354	70,747	44,393
合計	517,169	744,831	227,662
平均	43,097	62,069	18,972

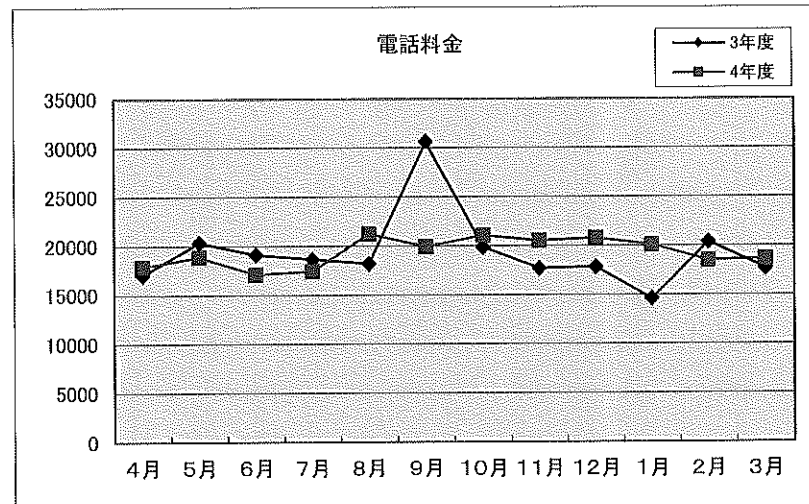


燃料(風呂用重油代)			
月	3年度	4年度	差引額
4月	187,320	161,590	△ 25,730
5月	104,060	0	△ 104,060
6月	38,368	97,850	59,482
7月	0	62,130	62,130
8月	84,600	0	△ 84,600
9月	0	89,380	89,380
10月	0	0	0
11月	151,200	101,370	△ 49,830
12月	151,200	103,550	△ 47,650
1月	128,700	103,550	△ 25,150
2月	0	247,430	247,430
3月	156,800	0	△ 156,800
合計	1,002,248	966,850	△ 35,398
平均	83,521	80,571	△ 2,950

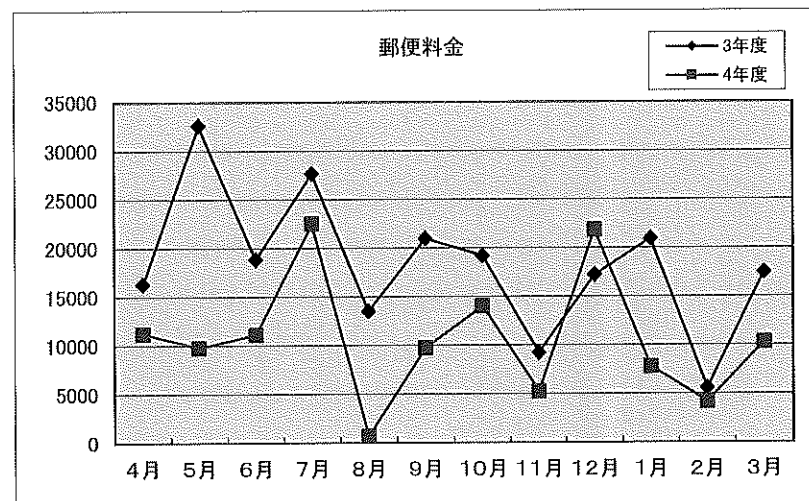


(9) 通信運搬費

電話料金			
月	3年度	4年度	差引額
4月	17,038	17,914	876
5月	20,373	18,872	△ 1,501
6月	19,129	17,131	△ 1,998
7月	18,654	17,432	△ 1,222
8月	18,206	21,241	3,035
9月	30,631	19,922	△ 10,709
10月	19,883	21,091	1,208
11月	17,722	20,512	2,790
12月	17,821	20,798	2,977
1月	14,627	20,082	5,455
2月	20,380	18,534	△ 1,846
3月	17,707	18,640	933
合計	232,171	232,169	△ 2
平均	19,348	19,347	△ 0



郵便料金			
月	3年度	4年度	差引額
4月	16,308	11,244	△ 5,064
5月	32,606	9,758	△ 22,848
6月	18,846	11,126	△ 7,720
7月	27,669	22,534	△ 5,135
8月	13,540	740	△ 12,800
9月	21,000	9,744	△ 11,256
10月	19,224	14,060	△ 5,164
11月	9,249	5,310	△ 3,939
12月	17,260	21,873	4,613
1月	20,950	7,798	△ 13,152
2月	5,600	4,200	△ 1,400
3月	17,512	10,294	△ 7,218
合計	219,764	128,681	△ 91,083
平均	18,314	10,723	△ 7,590



(10) 旅費交通費

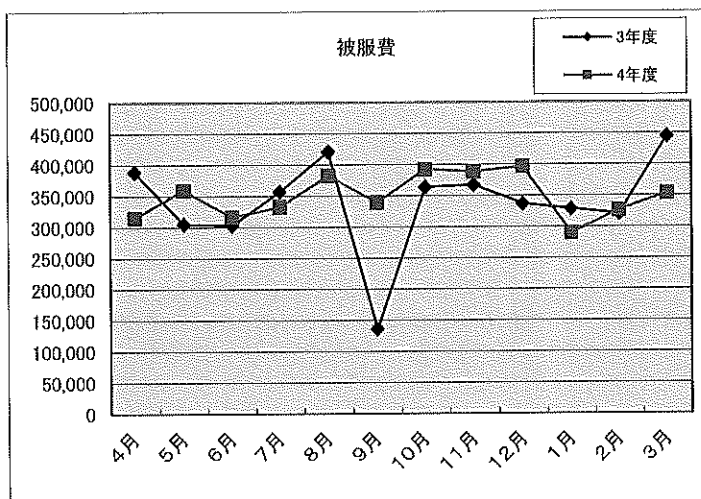
				会議費	
月	3年度	4年度	差引額	内訳	
4月	0	0	0		
5月	0	1,628	1,628	身障協施設長会議	
6月	0	0	0		
7月	1,628	1,628	0	身障協施設長会議	
8月	0	0	0		
9月	0	0	0		
10月	0	1,628	1,628	身障協施設長会議	
11月	0	0	0		
12月	0	0	0		
1月	0	0	0		
2月	1,628	36,028	34,400	身障協施設長会議、関東ブロック施設長会議	
3月	0	9,900	9,900	関東ブロック施設長会議(乗車券)	
合計	3,256	50,812	47,556		

(11) 研修研究費

				研修費	
月	3年度	4年度	差引額	内訳	
4月	19,800	150,348	130,548	福祉新聞, 柳様SDS	
5月	0	26,000	26,000	財務管理者研修マスターズ、コンプライアンス研修、労務管理者研修	
6月	27,700	43,000	15,300	初任者キャリアパス研修、新任職員研修、感染症予防基礎研修、リスクマネジメント研修、主任/係長講座、財務管理者研修	
7月	20,828	34,000	13,172	甲種防火管理新規講習、キャリアパス(初任者・中堅職員・チームリーダー)研修、BCP作成のコツを学ぶ研修	
8月	11,000	10,000	△ 1,000	スーパービジョン研修、認知症ケア入門研修	
9月	0	4,920	4,920	中堅職員研修会、キャリアパス研修テキスト	
10月	1,000	8,500	7,500	安全運転管理者等法定講習、サビ管責任者更新研修	
11月	19,080	0	△ 19,080		
12月	13,500	15,000	1,500	社会福祉援助技術基礎研修、組織力向上研修	
1月	30,756	30,816	60	月刊福祉購読料、福祉職員の基本的スキル研修、障害者のためのレク支援研修	
2月	8,000	1,000	△ 7,000	摂食嚥下リハビリテーション基礎研修	
3月	0	8,000	8,000	福祉職員のための社会人常識とマナー研修	
合計	151,664	331,584	179,920		

(12)被服費

被服費(オムツ)			
月	3年度	4年度	差引額
4月	388,574	315,720	△ 72,854
5月	305,452	359,462	54,010
6月	303,010	316,243	13,233
7月	357,301	333,063	△ 24,238
8月	421,414	382,805	△ 38,609
9月	136,900	339,921	203,021
10月	364,099	392,874	28,775
11月	367,332	388,568	21,236
12月	336,708	396,894	60,186
1月	328,387	289,848	△ 38,539
2月	320,670	326,632	5,962
3月	445,030	353,418	△ 91,612
合計	4,074,877	4,195,448	120,571
平均	339,573	349,621	10,048



納品年度	テーブM		テーブM-L		やわ楽パンツM		やわ楽パンツL	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
4月	30	28	10	6	4	0	0	4
5月	25	29	7	6	3	4	0	2
6月	25	31	5	6	4	0	0	0
7月	28	29	10	5	4	0	0	0
8月	29	33	6	7	2	0	0	2
9月	15	28	5	6	0	4	0	2
10月	28	28	8	10	4	4	0	2
11月	28	33	10	7	4	0	2	4
12月	28	35	4	6	2	0	0	2
1月	31	28	4	8	1	0	3	2
2月	28	28	3	6	3	0	0	2
3月	35	30	6	4	4	2	2	0
合計	330	360	78	77	35	14	7	22
平均	27.5	30.0	6.5	6.4	2.9	1.2	0.6	1.8

納品年度	パットふつう		デイロング		ナイトロング		吸水シート	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
4月	12	4	26	28	9	8	3	3
5月	8	9	22	28	7	11	3	0
6月	10	3	19	26	10	10	0	6
7月	10	6	24	17	8	25	3	2
8月	7	5	37	33	23	16	4	3
9月	0	6	0	26	12	10	0	3
10月	8	4	28	27	13	21	2	4
11月	10	9	24	27	8	12	3	4
12月	10	6	27	35	10	14	2	4
1月	6	6	27	16	9	10	2	2
2月	7	7	26	22	9	11	4	5
3月	15	9	35	25	11	12	0	5
合計	103	74	295	310	129	160	26	41
平均	8.6	6.2	24.6	25.8	10.8	13.3	2.2	3.4

(13)修繕費

月	名目	金額	内容
4	エムアンドディー	43,560	報知器電源取換
5	セイコー工業	357,500	廊下天井ジプトン塗装
6	セイコー工業	176,000	厨房内手洗器交換工事
	森田自動車	132,036	マイクロバス車検
7	タムラ医療	42,966	プールのおしぼり機修理
9	オキナヤ	97,900	入所棟1F西側トイレ小便器センサー交換工事
	中沢硝子店	99,000	入所棟1F東側排煙窓オペレーター交換工事
	鎌塚自動車	99,252	スズキキャリィ車検
10	後藤衛生コンサルタント	16,500	浄化槽ブローワー修理
	オキナヤ	97,900	入所棟1F西側男子トイレセンサー交換工事
11	日本テクノエンジ	36,300	ヒューズ交換工事
	田口自動車	124,000	ハイエース修理
	オキナヤ	38,500	厨房内換気扇交換工事
12	埼玉日産	94,600	マイクロバスバッテリー交換
2	セイコー工業	12,210	入所棟1Fリネン庫内蛍光灯スイッチ交換工事
	インテリア桜沢	162,250	浴室タイル張替工事
	山岸建具店	4,950,000	入所棟1F居室ドア交換工事
3	セイコー工業	24,200	排水管交換工事
	コバック	129,000	ハイエース車検
合	計	6,733,674	

(14)固定資産

科目	物品名	3年度	4年度	差引額
機械及び装置	カラーフィルターX	2,070,000		-
	スピーシア	1,820,000		-
	計	3,890,000	0	△ 3,890,000
器具及び備品	業務用ミキサー	102,300		-
	除菌タオルディスペンサー	108,900		-
	アルミ折りたたみ式リヤカー	121,000		-
	冷蔵ショーケース		231,000	-
	業務用冷凍冷蔵庫		440,000	-
	除菌タオルディスペンサー		107,800	-
	相談室応接3点セット		143,000	-
	自動体外式除細動器(AED)		198,000	-
	一般浴用リフト		605,000	-
計	332,200	1,724,800	1,392,600	
機械及び装置	非接触体温計	253,000		-
	非常用自家発電設備	30,250,000		
	計	30,503,000	0	△ 30,503,000
合計		34,725,200	1,724,800	-33,000,400

(15)職員研修状況

① 園内職員研修

研修名	月日	参加者	講師
「ハラスメント防止に向けて」	4月27日	職員	園長
感染症防止委員会 「手洗い・ガウンテクニック・嘔吐物処理」	4月	職員	施設職員 (感染症防止委員)
「口腔ケア研修」 (動画視聴)	9月	職員	埼玉県総合 リハビリテーションセン ター 科診療部 歯科医師 永屋 康
虐待防止委員会 「成年後見制度について」	10月19日	職員	社会福祉法人 熊谷市社会福祉協議会 地域福祉係 赤石 恭子氏
虐待防止委員会 「アンガーマネジメントについて」	2月22日	職員	施設職員 (虐待防止委員)
「誤嚥について」 (動画視聴)	3月	職員	横浜メディカル グループ看護部

② 園外研修

職種	研修名	月日	場所	主催
園長	令和4年度身障協総会 第1回施設長会議	4月15日	はくちよう園	埼玉県身体障害者施設 協議会
	令和4年度身障協 第2回施設長会議	6月16日	はくちよう園	埼玉県身体障害者施設 協議会
	令和4年度身障協 第3回施設長会議	9月16日	はくちよう園	埼玉県身体障害者施設 協議会
	令和4年度身障協 第4回施設長会議	1月12日	はくちよう園	埼玉県身体障害者施設 協議会
	令和4年度関ブロ第1回総会 第1回施設長会議	3月16・17日	ホテルメトロポリタン 長野	関東・甲信越地区 身体障害者施設協議会
総務課長	安全運転管理者等法定講習	10月17日	深谷市花園文化会館	埼玉県安全運転管理者協会
	財務管理者研修マスターズ	12月9日	オンライン (動画配信)	埼玉県身体障害者施設 協議会
事務員	労務管理者研修	6月20日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	感染症予防基礎研修	7月22日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	財務管理者研修	8月1日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	甲種防火管理新規講習	8月24・25日	ピピア会議室	熊谷市消防
	熊谷市福祉避難所研修会	10月7日 11月25日	くまびあ	熊谷市
	財務管理者研修マスターズ	12月21日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
生活支援課長	令和4年度身障協支援担当者会議	5月20日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	彩の国あんしんセーフティネット事業 ブロック会議	5月31日・6月30日 7月29日・8月30日 9月29日	オンライン (ZOOM)	熊谷市社会福祉協議会
	彩の国あんしんセーフティネット事業 第1回ブロック会議・研修	8月19日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	身障協 サービス管理責任者ネットワーク	11月17日	オンライン (ZOOM)	埼玉県身体障害者施設 協議会

職種	研修名	月日	場所	主催
生活支援課長	彩の国あんしんセーフティネット事業 担当相談員専門研修	12月9日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	第2回西熊谷病院 地域包括ケア会議	12月2日	オンライン (ZOOM)	公益財団法人 西熊谷病 院
	彩の国あんしんセーフティネット事業 第2回ブロック会議・研修	2月27日	さくらめいと	埼玉県社会福祉協議会
生活支援員	コンプライアンス研修	6月5日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	新任職員研修会	7月8・12日	オンライン (ZOOM)	埼玉県発達障害福祉協会
	リスクマネジメント研修	7月20日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	初任者キャリアパス研修	8月1・23日 10月12・19日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	BCPの作成のコツを学ぶ研修	8月17日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	第1回 西熊谷病院 地域包括ケア会議	8月23日	オンライン (ZOOM)	公益財団法人 西熊谷病 院
	社会福祉法人 主任/係長講座	8月26日	オンライン (ZOOM)	全国社会福祉協議会
	スーパービジョン研修	8月31日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	認知症ケア入門研修	10月7日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	中堅職員研修会	10月21日 11月1日	オンライン (ZOOM)	埼玉県発達障害福祉協会
	サービス管理責任者等更新研修	11月11日	オンライン (ZOOM)	プログレ総合研究所
	中堅職員キャリアパス研修	11月22・29日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	チームリーダーキャリアパス研修	12月6日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	身障協職員研修 「虐待防止法・権利擁護研修」	12月8日	オンライン (ZOOM)	埼玉県身体障害者施設 協議会
	福祉職員組織力向上研修	1月11日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	社会福祉援助技術基礎研修	1月17・24・31日	オンライン (ZOOM)	埼玉県社会福祉協議会
	障がい者のためのレクリエーション 支援者養成研修会	2月11・12日	オンライン (ZOOM)	戸山サンライズ
	福祉職員の基本的スタンス研修	2月27日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	埼玉県災害派遣福祉チーム 第2回スキルアップ研修	3月2日	オンライン (動画配信)	埼玉県
	福祉職員のための 社会人常識とマナー研修	3月29日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
看護師	感染症予防基礎研修	7月12日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	摂食嚥下リハビリテーション (基礎)研修	2月22日	嵐山郷	嵐山郷
管理栄養士	感染症予防基礎研修	7月12日	オンライン (動画配信)	埼玉県社会福祉協議会
	給食施設研修会	10月24日	オンライン (動画配信)	熊谷保健所
	食のリスクコミュニケーター研修	10月25日	オンライン (ZOOM)	熊谷保健所

(16)防災訓練実施状況

4月27日	生活介護棟出火想定避難訓練	訓練実施
5月25日	AED・心肺蘇生法訓練	訓練実施
6月22日	火災想定避難訓練	コロナウイルスワクチン接種により発熱者多数の為、中止
7月27日	AED・心肺蘇生法訓練	コロナウイルス感染予防の為、中止
8月24日	水消火器・消火栓放水訓練	コロナウイルス感染者発生の為、中止
9月28日	火災想定避難・通報訓練	コロナウイルス感染予防、WAX清掃の為、延期
10月26日	夜間想定避難訓練1F	訓練実施
11月30日	AED・心肺蘇生法訓練	利用者参加型、生活介護棟にて訓練実施
12月28日	火災想定避難訓練	コロナウイルス感染予防の為、中止
1月25日	水害災害訓練	訓練実施
2月22日	夜間想定避難訓練2F	訓練実施
3月22日	水消火器・消火栓放水訓練	訓練実施

反省点 コロナウイルス感染や予防の為地域防災訓練はじめ多くの訓練が実施できなかった。
訓練実施日には委員会に参加している職員が多く出勤の為、委員会以外の職員が訓練に参加する事が難しい状況であった。